

年表

年	当行関連	内外時事 <small>(青字は千葉県関連)</small>
1942 (昭和17)	8. 7 千葉合同銀行・小見川農商銀行・第九十八銀行、合併覚書に調印(12月30日 合併契約書に調印)	5.11 普通銀行統制会・地方銀行統制会発足 5.16 金融事業整備令施行 5.23 全国金融統制会発足
1943 (昭和18)	2. 1 千葉合同銀行、東金銀行の営業を譲受け 3.29 千葉銀行創立総会開催 3.31 千葉銀行創立(公称資本金1,000万円、本店は千葉市通町64番地、初代頭取に古荘四郎彦) 3.31 「秘書室」「検査室」「庶務部」「業務部」「経理部」「営業部」を設置 3.31 行章制定	3.31 千葉無尽・千葉共栄無尽・大昭無尽が合併、千葉合同無尽発足 5.20 普通銀行等の貯蓄銀行業務・信託業務の兼営が可能に 8. 2 日本銀行(日銀)、内国為替集中決済制度を実施
1944 (昭和19)	3.31 千葉貯蓄銀行を合併 3.31 公称資本金1,380万円に 6. 1 野田商誘銀行の営業を譲受け(千葉県における一県一行体制が確立) 6. 1 内規制定 6. 1 業務部内に「経理課」を設置し、経理部を廃止 6.15 第1回「割増金付定期預金」募集開始	1.18 軍需融資指定金融機関制度導入 4. 1 関東地区金融関係非常駅伝路線設定 7.22 小磯内閣成立
1945 (昭和20)	2.25 空襲で東京支店が全焼 7. 7 空襲で本店新館と付属建物が全焼	4. 7 鈴木貫太郎内閣成立 7. - 千葉市と銚子市に空襲 8. 6 広島に原子爆弾投下(8月9日 長崎にも投下) 8.14 日本、ポツダム宣言を受諾(8月15日 玉音放送) 8.17 東久邇宮稔彦内閣成立 9.28 全国銀行協会連合会(全銀協)設立(1999年4月20日 全国銀行協会に改組) 10. 9 幣原喜重郎内閣成立 10.24 国際連合(国連)設立
1946 (昭和21)	4.20 「千葉銀行職員組合」結成(1949年8月7日 千葉銀行従業員組合と改称) 8.11 金融機関経理応急措置法により新旧勘定に分離 12.11 第1回「福徳定期預金」募集開始	2.17 金融緊急措置令・日本銀行券預入令施行(預金封鎖・新円切替え) 5.22 第1次吉田茂内閣成立 8.15 金融機関経理応急措置法施行 10.30 戦時補償特別措置法・金融機関再建整備法施行 11. 4 衆議院内に通貨安定対策本部設置 12.27 政府、傾斜生産方式を閣議決定
1947 (昭和22)	8.22 労働協約締結	1.24 復興金融公庫設立 4.21 千葉県初代民選知事に川口為之助就任 5. 3 日本国憲法施行 5.24 片山哲内閣成立 12.15 臨時金利調整法施行
1948 (昭和23)	1. 1 「人事部」を設置し、秘書室を廃止。検査室を「検査部」と改称 3.31 金融機関再建整備法に基づき旧勘定の最終処理実施(未払込株金徴収、90%減資により資本金138万円に) 4. 1 新旧勘定合併、調整勘定を設置 10. 1 増資により資本金1億4,000万円に	3.10 芦田均内閣成立 5. 7 改正証券取引法施行 7.21 銀行業務の兼営により専業信託会社が信託銀行に転換(~8月) 10.15 第2次吉田茂内閣成立 12.18 連合国軍総司令部(GHQ)、経済安定9原則を発表
1949 (昭和24)	1. 4 第1回「宝定期預金」募集開始(募集総額2億円) 7. - 東京都中野区に単身寮「中野寮」開設(1984年9月7日 建替え、1998年6月30日 廃止) 8.15 定年退職者らによる親睦組織「清風会」発足 9. - 千葉市に単身寮「新田寮」開設(廃止済)	3. 7 GHQドッジ財政金融顧問、緊縮財政と固定相場制を柱とするドッジ・ラインを発表 4.22 千葉県信用保証協会設立 4.25 1ドル=360円の単一為替レート適用(固定相場制に) 6. 1 国民金融公庫設立 11. - 政策転換により一県一行主義が緩和 12. 1 外国為替及び外国貿易管理法(外為法)施行
1950 (昭和25)	1.16 静岡県熱海市に保養所「千銀荘」開設(1997年3月31日 廃止) 7. 3 住宅金融公庫受託業務開始 9. 1 「千葉銀行健康保険組合」設立	1.14 地方銀行協会(地銀協)設立(1951年5月11日 全国地方銀行協会と改称) 4. 1 特殊銀行制度廃止 6. 5 住宅金融公庫設立(2007年4月1日 住宅金融支援機構に改組) 6.25 朝鮮戦争勃発 10. 7 戦後初の新銀行となる東北銀行設立(1954年1月までに12の戦後地銀が誕生) 11.13 日立航空機工場跡地に川崎製鉄千葉製鉄所の誘致決定 12.15 千葉県知事に柴田等就任 12.28 日本輸出銀行設立(1952年4月1日 日本輸出入銀行と改称)
1951 (昭和26)	4. 1 「調査部」を設置 7.31 増資により資本金3億円に 9.13 増資により資本金3億5,000万円に 9.13 総預金100億円達成	4.20 日本開発銀行設立 6. 5 相互銀行法施行 6.15 信用金庫法施行 7. 2 千葉県総合開発計画策定

年表

年	当行関連	内外時事 <small>(青字は千葉県関連)</small>
1951 (昭和26)		9. 8 対日講和条約・日米安全保障条約調印(1952年4月28日発効) 10.20 千葉合同無尽、相互銀行に転換し千葉相互銀行と改称 10.20 千葉県内に7信用金庫発足(千葉・銚子・船橋・佐原・木更津・市川・旭)
1952 (昭和27)	4. 1 「審査部」を設置 5. 6 船橋市に単身寮「中山寮」開設(廃止済)	3. 3 千葉興業銀行営業開始 8.13 日本、国際通貨基金(IMF)・世界銀行に加盟 12. 1 長期信用銀行法施行
1953 (昭和28)	3. - 初の新入行員集合研修実施 4. 1 審査部を「審査第一部」「審査第二部」に分割 6.10 市川市に単身寮「市川寮」開設(廃止済) 7. 4 「千葉県福祉財団」設立(創立10周年記念事業) 7.13 本店増改築竣工 7.18 創立10周年記念式典開催	1.24 千葉県住宅協会設立(1965年11月1日 千葉県住宅供給公社に改組) 2. 1 日本放送協会(NHK)、テレビ本放送を開始 4. 1 農林漁業金融公庫設立 6.17 川崎製鉄千葉製鉄所、第1高炉火入れ 8.20 中小企業金融公庫設立
1954 (昭和29)	2. 4 初の事務講習会実施 5.15 「管理部」を設置 7.18 「千葉銀行十年の歩み」を千葉新聞社から刊行	4.10 外国為替銀行法施行 7. 1 千葉港開港(関税法指定貿易港に指定) 12.10 第1次鳩山一郎内閣成立
1955 (昭和30)	5. 5 行内報「ちぎん広報」創刊(1959年 21号で廃刊) 6. 2 事務取扱基準(出納編・計算編・為替編)制定 9.13 行内手形交換開始	4.21 新京成電鉄、京成津田沼-松戸間全線開通 9.10 日本、関税及び貿易に関する一般協定(GATT)に加盟 10. 3 八千代台団地の分譲開始(国内初の住宅団地)
1956 (昭和31)	4. 1 「経理部」を設置 4. 1 職員住宅資金融資規定制定 11.30 調整勘定利益金の分配開始(調整勘定閉鎖)	12.18 日本、国連に加盟 12.23 石橋湛山内閣成立 12. - 千葉県産業振興3か年計画にて内湾1,000万坪の埋立構想発表
1957 (昭和32)	10.16 初の得意先係訓練講習会実施	1. 1 「千葉日報」創刊 2.25 岸信介内閣成立 4. - 東京電力千葉火力発電所、運転開始 5.20 千葉港、港湾法に基づく重要港湾に指定 9.18 五井・市原地区埋立造成工事開始
1958 (昭和33)	3.24 都内企業「レインボー」に対する不正融資表面化 4.10 自動継続定期預金「千銀リレー定期預金」取扱開始 4.14 古荘頭取辞任 5. 8 大久保太郎が第2代頭取に就任 5. 9 「審査部」(審査第一部と審査第二部を統合)を設置 6.15 群馬県長野原町に健康保険組合直営保養所「浅間山荘」開設 9. 1 創立15周年記念定期預金「頭取定期預金」取扱開始	8. 1 房総半島南部海岸線一帯が南房総国定公園に指定 12. 1 1万円札(聖徳太子)発行 12. - 京葉工業地帯造成計画策定(臨海部1,000万坪 内陸部200万坪の造成構想)
1959 (昭和34)	1.10 「千銀積立定期預金」取扱開始 2. - 事務体制をユニットシステムに変更 9. 1 事務取扱基準(総則編)制定 9. 7 関連会社「総武土地」設立(1978年3月 総武と改称) 10. 1 事務取扱基準(預金編)制定	3. 2 全銀協、貸出金利に標準金利方式(短期プライムレート)を採用 4.10 皇太子明仁親王ご成婚 9.11 日銀、準備預金制度を初めて発動 12. - 京葉臨海工業地帯造成計画策定(1975年にかけて2,000万坪の埋立構想)
1960 (昭和35)	1. 1 行内報復刊、「ちびぎん」第1号発行 5. 1 事務取扱基準(貸付編)制定 5. - 初の事業審査講習会実施 9.10 従業員組合、ストライキ権を確立(9月13日 指名スト開始、11月4日 労働争議終結)	2.15 千葉県開発公社設立 3.21 内陸工業用地造成計画策定(1,000万坪の造成構想) 4.29 京葉道路、一之江-船橋間開通 4. - 常盤平団地完成(国内初の公団団地) 6.24 政府、貿易為替自由化計画大綱を閣議決定 7.19 第1次池田勇人内閣成立 12.27 政府、国民所得倍増計画を閣議決定 12. - 京葉臨海工業地帯造成計画策定(3,400万坪の埋立構想)
1961 (昭和36)	3.31 総預金500億円達成 6. 5 初の信用調査実務研修会実施 6.12 「千銀住宅積金」取扱開始 9.18 「期日指定預金」取扱開始 9.30 習志野市に単身寮「津田沼寮」開設(1996年3月24日 廃止)	9.13 大蔵省、店舗政策の弾力化方針を決定(小型支店制度創設) 9.30 経済協力開発機構(OECD)発足
1962 (昭和37)	4. - 「千葉県振興定期預金」取扱開始 5.14 「預金部」を設置 7. 2 本店-東京支店間でテレタイプ通信開始 11. 1 「創立20周年記念定期預金」募集開始	9. 8 千葉県新庁舎落成 11. 3 千葉県知事に加納久朗就任 12.10 銚子大橋開通
1963 (昭和38)	3.29 永年勤続表彰規定制定(4月 運用開始) 4. 1 提案制度開始(「提案審査委員会」を設置) 4. 1 事務取扱基準(受託編)制定 4. 1 外国為替業務(乙種)開始 4.19 増資により資本金7億円に	2.20 日本、GATT11条国に移行 4. 1 少額貯蓄非課税制度創設(限度額50万円) 4.17 千葉県知事に友納武人就任 4.28 国鉄千葉駅、現在地に移転 9.16 京葉臨海鉄道開業

年表

年	当行関連	内外時事 <small>(青字は千葉県関連)</small>
1963 (昭和38)	4.27 岩城長保が第3代頭取に就任 7. - NHK受信料自動振替開始 9.16 総合業績表彰規定制定 9.30 総預金1,000億円達成 10. 1 「企画室」を設置	11. 1 新千円札(伊藤博文)発行
1964 (昭和39)	1.18 「秘書室」「業務推進部」「事務部」「外国部」を設置し、業務部、預金部を廃止。企画室を「総合企画室」と改称 2.28 ひまわりをバンクフラワーに制定 4. 1 総合予算制導入 4. 1 千葉県と指定金融機関事務取扱契約締結 4. 1 我孫子市に単身寮「我孫子寮」開設(廃止済) 4. - 日本クレジットビューロー(JCB)のクレジットカード受託業務開始 8.17 初の支店長研修実施 10. 1 増資により資本金14億円に	4. 1 日本、IMF8条国に移行 4. 1 地方公共団体の指定金融機関制度導入 4.28 日本、OECDに正式加盟 7. - 千葉県、第1次総合5か年計画を発表 10. 1 東海道新幹線、東京-新大阪間開業 10.10 東京オリンピック開幕(～10月24日) 11. 9 第1次佐藤栄作内閣成立
1965 (昭和40)	1.18 初の営業管理研修講座実施 1.29 栃木県那須町に保養所「那須銀嶺荘」開設(2011年11月30日 廃止) 4. 1 職能給体系導入、人事考課制度改定 4. 1 館山市と市川市に単身寮「館山寮」「中山南寮」開設(1997年4月30日 中山南寮廃止、館山寮廃止済) 7. 1 週休2日制(月1回交代制)導入 10. 7 千葉市に集合社宅「穴川社宅」開設(2023年7月31日 廃止)	4. 1 千葉港、港湾法に基づく特定重要港湾に指定 4. 1 八幡製鐵君津製鐵所操業開始 6. 7 日銀、山一証券に特別融資を実行
1966 (昭和41)	1.10 千葉市に研修所開設(1998年4月 ちばぎん研修センター開設に伴い廃止) 4. 1 銚子市に単身寮「銚子寮」開設(廃止済) 7. - 「小さな親切」運動千葉銀行支部発足 10. 1 増資により資本金28億円に 11.21 メールカー制度導入(輸送体制強化)	1.28 戦後初の特例国債(赤字国債)発行 4. 1 房総フラワーライン有料道路開通 7. 1 千葉県総合運動場陸上競技場完成 7. 4 新国際空港建設地、成田市三里塚に閣議決定
1967 (昭和42)	2. 1 全店行内交換制度開始 10. 1 生命保険付「ちばぎん住宅ローン」取扱開始 10.24 古荘初代頭取死去 11.25 管理部を廃止	2. 2 日銀、戦後初の国債買いオペレーションを実施 4.21 鴨川有料道路開通 9.30 大蔵省、銀行決算における統一経理基準導入を通告(1967年度上期決算より適用)
1968 (昭和43)	3. 8 千葉市に単身寮「西千葉寮」開設(2002年7月31日 廃止) 3. - 行内交換振込開始 4. 8 大阪府吹田市に単身寮「千里山寮」・集合社宅「千里山社宅」開設(ともに廃止済) 5. 5 創立25周年記念式典開催 5. - 千葉県対がん協会に胃集団検診車寄贈(創立25周年記念事業) 10.11 初の中堅行員研修会実施 10.14 日本橋ちばぎんビル竣工 12. 1 増資により資本金42億円に	6. 1 金融二法(相互銀行法・信用金庫法の一部改正、金融機関の合併及び転換に関する法律)施行 6. 6 県人口300万人突破 7. 1 地銀協、データ通信システムを稼働 10. 1 市川松戸有料道路開通 12.18 大蔵省、金融機関店舗の配置転換の弾力化を通告(1969年度より適用)
1969 (昭和44)	4. 1 柏市に単身寮「柏寮」開設(1997年5月31日 廃止) 5. 1 本部機構を3本部制(企画本部・業務本部・地区営業本部)に移行。「本店建設準備室」を設置。業務推進部を「業務部」、総合企画室を「企画部」、調査部を「経済調査室」と改称 7. - 総合振込の本部集中処理開始 10.21 初の女子中堅行員研修会実施	3.29 営団地下鉄東西線、東陽町-西船橋間全線開通 5.26 東名高速道路全線開通 7.20 米宇宙船アポロ11号、人類初の月面着陸に成功 11. 1 新500円札(岩倉具視)発行
1970 (昭和45)	4. 1 千葉市に初の女子寮「春日寮」開設(1993年1月31日 廃止) 4.23 東京手形交換所(夜間交換)に加盟 7.16 千葉銀行職員持株会発足 10. 1 東京証券取引所(以下、東証)第二部上場 10. 1 増資により資本金65億円に 10.20 千葉市に集合社宅「京成黒砂コーポ」開設(2009年3月31日 廃止) 12. 8 千葉市に集合社宅「幸町社宅」開設(2015年6月30日 廃止)	2.20 大蔵省、銀行の配当規制の緩和を通告(年10%まで原則自由化、1970年9月期より適用) 3.14 日本万国博覧会、大阪で開幕(～9月13日) 8.20 国鉄鹿島線開業 9. - 成田ニュータウンの分譲開始 10. 1 国勢調査にて日本の総人口1億人突破
1971 (昭和46)	2. 1 「住宅相談所」オープン(廃止済) 3. 2 2代目本店着工 3.13 成田市に単身寮「成田寮」開設(2002年5月31日 廃止) 4.17 本部機構を4本部制(企画本部・営業推進本部・融資本部・管理本部)に移行。「営業推進部」「公務部」「営業統括部」「経営相談室」を設置し、業務部を廃止。経済調査室を「調査部」、本店建設準備室を「本店建設室」と改称 6. 1 連続休暇制度創設 8. 2 東証第一部に指定替え 9.30 総預金5,000億円達成 10. 4 第1次オンラインシステム稼働、為替オンライン開始	4. 1 預金保険法施行(7月1日 預金保険機構設立) 4.20 国鉄常磐線、我孫子まで複数線化 5. 1 千葉テレビ放送開局 5.20 短資業者を介した手形売買市場創設 6. 1 勤労者財産形成促進法施行(財形貯蓄制度創設) 6.23 初の住宅金融専門会社(住専)となる日本住宅金融設立 8.15 ニクソン米大統領、金ドル兌換停止などの緊急経済対策を発表(ニクソン・ショック) 8.28 日本円、変動相場制に移行 10. 1 第一銀行と日本勧業銀行が合併、第一勧業銀行発足 10.26 東関東自動車道、宮野木-富里間開通

年表

年	当行関連	内外時事 <small>(青字は千葉県関連)</small>
1971 (昭和46)		12.18 スミソニアン協定により、1ドル=308円に切上げ(固定相場)
1972 (昭和47)	<ul style="list-style-type: none"> 1. 1 審査部を「融資部」と改称 1.10 普通預金オンライン開始(1974年1月 完了) 3. 4 船橋市に女子寮「西船寮」開設(2020年6月15日 廃止) 5. 1 外国銀行とのコルレス取引開始 5. - 第2次オンラインシステムのホストコンピュータをDIPSに決定 7. 1 松戸市に集合社宅「胡録台社宅」開設(2013年3月31日 廃止) 7. 8 勝浦市に保養所「鶴原海浜荘」開設(1996年7月1日 建替え) 10. 1 増資により資本金100億円に 10. 2 「ちばぎん総合口座」取扱開始 	<ul style="list-style-type: none"> 3.23 海浜ニュータウンの分譲開始 5.15 沖縄、日本に復帰 6.17 九十九里有料道路開通 7. 7 田中角栄内閣成立 7.15 国鉄総武線複々線化、東京駅乗入れ 8.19 東関東自動車道、成田まで開通 9.29 日中共同声明調印(国交正常化)
1973 (昭和48)	<ul style="list-style-type: none"> 2. 7 2代目本店竣工式 3. 1 新行章・行旗制定 3. 3 創立30周年新本店落成祝賀会開催(2代目本店) 3. 4 新本店落成創立30周年記念式典開催(2代目本店) 3.12 本店営業部、2代目本店にて営業開始 3.24 松戸市に女子寮「松戸寮」開設(2001年11月30日 廃止) 3.31 「千葉経済センター」設立(創立30周年記念事業、2003年9月30日に解散しひまわりベンチャー育成基金が事業継承) 4.23 事務部内に「特約センター」「為替事務センター」設置 7. 2 行員用クラブ「ちばぎんクラブ」開設(1992年12月31日 廃止) 10. 1 本部機構の4本部制を廃止。課制を採用 10.11 千葉駅前支店にCD1号機導入。「ちばぎんキャッシュカード」発行 	<ul style="list-style-type: none"> 2.14 日本円、再び変動相場制に移行 4. 9 全国銀行データ通信システム(全銀システム)稼働 7. 2 千葉県経済同友会設立 9. 9 第28回国民体育大会(若潮国体)夏季大会開幕(～9月12日) 10. 1 太陽銀行と神戸銀行が合併、太陽神戸銀行発足 10. 6 第4次中東戦争勃発 10.14 若潮国体秋季大会開幕(～10月20日) 10.16 石油輸出機構(OPEC)加盟諸国、原油価格の大幅値上げを決定(第1次オイルショック) 11. - 物資不足により国内でトイレットペーパーなどの買占め騒動発生 12.22 政府、石油・電力の20%使用節減など緊急対策を発表
1974 (昭和49)	<ul style="list-style-type: none"> 3. - 本店電算棟に第2次オンラインシステムのホストコンピュータ設置 5.10 庶務部を「庶務部」と「管財部」に、事務部を「事務企画部」と「事務集中部」に分割。「融資第二部」を設置し、営業統括部を廃止。融資部を「融資第一部」と改称 6. - 成田市に集合社宅「成田社宅」開設(2015年8月31日 廃止) 10. 1 増資により資本金150億円に 10.10 大久保相談役(第2代頭取)死去(10月19日 銀行葬) 10.26 千葉市に女子寮「新田寮」開設(2020年6月15日 廃止) 	<ul style="list-style-type: none"> 1.11 政府、石油・電力の15%使用節減など第2次対策を発表 4. 1 千葉県企業庁発足 10.23 千葉県立美術館開館 10.28 県人口400万人突破 12. 9 三木武夫内閣成立 12.25 大蔵省、銀行の大口融資規制を通過 12. - 銚子有料道路開通
1975 (昭和50)	<ul style="list-style-type: none"> 3.31 「千葉銀行史」(30年史)発刊 9.30 総預金1兆円達成 11. 3 岩城頭取、勲二等瑞宝章を受章 	<ul style="list-style-type: none"> 4.17 千葉県知事に川上紀一就任 7. 3 大蔵省、銀行の関連会社規制を通過 12.25 昭和五十年度の公債の発行の特例に関する法律施行(国債の大量発行時代に突入)
1976 (昭和51)	<ul style="list-style-type: none"> 4. 1 岩城頭取が会長に、緒方太郎が第4代頭取に就任 5.17 第2次オンラインシステム移行開始(1977年2月21日 完了) 	<ul style="list-style-type: none"> 4.27 千葉市に稲毛人工海浜オープン 6. 1 地銀生保住宅ローン設立(住専) 9.20 千葉県、新総合5か年計画を発表 12.24 福田赳夫内閣成立
1977 (昭和52)	<ul style="list-style-type: none"> 1. 1 「千葉銀行厚生年金基金」設立 4.11 「空港関連室」を設置 10. 1 増資により資本金200億円に 	<ul style="list-style-type: none"> 1.20 初の5年物中期割引国債発行 10. 1 松戸野田有料道路開通 11. 4 政府、第三次全国総合開発計画(三全総)を閣議決定
1978 (昭和53)	<ul style="list-style-type: none"> 2. 1 「ちばぎん教育ローン」取扱開始 4. 1 「業務渉外部」を設置し、公務部を廃止 5. 1 企画部を「企画部」と「総務部」に分割。「店舗業務部」「電子計算部」「お客様相談室」、企画部内に「広報室」を設置。融資第一部を「融資部」、融資第二部を「ローン業務部」と改称 5. 1 関連会社「千葉信用保証」設立(1986年7月 ちばぎん保証と改称) 6.24 市川市に単身寮「新中山寮」開設 7.19 館山市に保養所「銀洋荘」開設(2002年1月31日 廃止) 8.21 「ちばぎんカードローン」取扱開始 10.11 「公務部」を設置 	<ul style="list-style-type: none"> 5.20 新東京国際空港(成田空港)開港 5.23 大蔵省、特別出張所の創設・預金代理店制度の活用を通過 6.16 初の3年物利付国債発行(公募入札方式を採用) 10. 2 国鉄武蔵野線、新松戸-西船橋間開業 12. 7 大平正芳内閣成立 12.17 OPEC、原油価格の段階的引上げを決定(第2次オイルショック)
1979 (昭和54)	<ul style="list-style-type: none"> 1. 4 「QCサークル運動」開始 2. 1 営業店18か店にロビーウーマンを配置 2.19 新端末機への切替え開始(1980年4月21日 完了) 5. 1 事務企画部内に「第三次オンライン準備室」を設置し、空港関連室を業務渉外部の部内室に統合。調査部を廃止 5.16 譲渡性預金(CD)取扱開始 6.30 総預金2兆円達成 7.18 担保付社債信託法に基づく受託業務認可 11. 1 職員財産形成貯蓄創設 12.12 行員用クラブ「新千葉倶楽部」開設(1995年1月21日 廃止) 	<ul style="list-style-type: none"> 2.13 第2次全銀データ通信システム稼働(相互銀行・信用金庫等加盟) 3. 8 千葉東金有料道路開通 3. 9 北総開発鉄道、小室-北初富間開業 3. 9 千葉ニュータウンの入居開始 3.12 房総スカイライン有料道路開通 3.22 大蔵省、金融機関の小型店舗・機械化店舗制度導入などを通過 5.16 譲渡性預金(CD)創設(金額5億円以上、期間3～6か月) 6.28 先進国首脳会議(G7)東京サミット開催(～29日)

年表

年	当行関連	内外時事 <small>(青字は千葉県関連)</small>
1979 (昭和54)		12.29 統一経理基準の一部改正(有価証券の評価法が低価法と原価法の選択制に)
1980 (昭和55)	<ul style="list-style-type: none"> 1. - 住宅ローン債権書類の本部集中保管開始 2. 1 事務処理能力向上のための「オールA運動」開始 2.16 「公務部東京公務室」「公務事務局」「システム部」を設置し、空港関連室、電子計算部、第三次オンライン準備室を廃止 3. 3 市川支店と幸町支店にATM設置 4. 1 関連会社「千葉コンピューターサービス」設立(1986年7月 ちばぎんコンピューターサービスと改称) 4.17 「事務規定改定委員会」を設置 10. 1 営業店にローンレディを配置 	<ul style="list-style-type: none"> 5.21 大蔵省、金融機関の引受け国債の売却制限緩和など国債管理政策を発表 7.17 鈴木善幸内閣成立 10. 1 京葉道路全線開通 10.13 地銀CD全国ネットサービス(ACS)開始 12. 1 外国為替及び外国貿易管理法(新外為法)施行
1981 (昭和56)	<ul style="list-style-type: none"> 2.16 「営業本部」を設置。融資部を「融資企画部」「融資第一部」「融資第二部」に分割 2. - 営業店に法人専任担当者を配置 3. 9 国際銀行間データ通信システム(スイフト)に加入 4. 1 再雇用制度創設 6.22 定款変更により1年決算に移行 10. 1 「業務企画部」を設置 11. 2 「ちばぎんテレホンサービス」取扱開始 11.30 辰巳台出張所に県内初のドライブインCD設置 	<ul style="list-style-type: none"> 4. 5 千葉県知事に沼田武就任 5.25 銀行法改正など金融4法成立 6. 6 信託銀行、新型貸付信託「ビッグ」取扱開始 6.25 銀行行政の自由化・弾力化第1次措置発表(諸規制の緩和、諸報告の簡素化など) 10. 1 国鉄総武線、津田沼-千葉間複々線化 10. 1 小布施証券と鳥海証券が合併、中央証券発足 11. - 長期信用銀行など、新型利付金融債「ワイド」取扱開始
1982 (昭和57)	<ul style="list-style-type: none"> 1. 4 新通達・通知制度開始 2. 8 融資企画部を「法人業務部」と改称 4. 1 増資により資本金255億円に 4. 1 共同営業体制に移行(営業店を8ブロック・43グループ・22ユニットに編成) 4. 1 金地金売買業務開始 4. 1 「ちばぎん商工ローン」取扱開始 4. 1 事務統括者制度導入 9.27 外為総合オンラインシステム稼働 11. 1 コーポレート・アイデンティティ(CI)システムの運用開始 11. 1 関連会社「千葉カード」設立(1989年4月 ちばぎんジェーシーカードと改称) 12. 9 福島県猪苗代町に健康保険組合直営保養所「磐梯山荘」開設(2018年3月31日 廃止) 	<ul style="list-style-type: none"> 3.30 銀行行政の自由化・弾力化第2次措置発表(関連会社業務、記念配当、営業時間の弾力化など) 4. 1 新銀行法・改正証券取引法施行 4. 1 銀行等で金の窓口販売解禁 4. 1 500円硬貨発行 4.27 東関東自動車道、市川-宮野木間開通 6.18 東京湾横断道路建設促進県民会議設立 10. 1 財形年金貯蓄制度創設 11.27 中曽根康弘内閣成立
1983 (昭和58)	<ul style="list-style-type: none"> 3. 4 千葉県に1億円寄付(創立40周年記念事業) 3. 6 創立40周年記念式典開催 3.15 関連会社「ちばぎんビジネスサービス」設立(1993年2月22日 ちばぎんキャッシュビジネスと改称、2004年7月(新)ちばぎんビジネスサービスに統合) 3.22 新オンラインシステム稼働(全科目オンライン化) 3.31 総預金3兆円達成 4. 1 営業本部内に「営業統括部」「個人業務部」を設置し、営業推進部、ローン業務部を廃止 4. 1 新事務基準制定(事務規定を全面改定) 4. 1 新行章制定 4. 1 60歳定年制に移行 4. 1 初の女性課長誕生 4. 9 公共債の窓口販売業務開始 4.14 岩城相談役(第3代頭取)死去(5月1日 銀行葬) 9. - ディスクロージャー誌発行開始 10.17 「ちばぎんリフォームローン」取扱開始 11.21 「ちばぎんオンラインデータ伝送サービス」取扱開始 12. - 「ちばぎん資金振替サービス」取扱開始 	<ul style="list-style-type: none"> 3.18 佐倉市に国立歴史民俗博物館開館 4. 8 銀行行政の自由化・弾力化第3次措置発表(企業内CD、ポータブル端末機の導入など) 4. 9 銀行等で公共債の窓口販売解禁 4.15 浦安市に東京ディズニーランドオープン 6.20 千葉県、千葉新産業三角構想を策定 8.13 金融機関の週休2日制(第2土曜日休業)導入 9.12 県人口500万人突破 10. 7 銀行等で中期国債の窓口販売解禁 10.17 地銀63行、バンクカード取扱開始
1984 (昭和59)	<ul style="list-style-type: none"> 2.21 営業本部内に「支店統括室」「関連事業室」「業務企画室」(業務企画部を改称)、法人業務部内に「地域法人室」「経営相談室」、事務集中部内に「住宅公庫ローン室」を設置 2.27 「ちばぎんパソコンバンクサービス」取扱開始 3.12 季刊の地域コミュニティ誌「ばれっと」創刊(1999年2月 広報誌「ラウンジ」創刊に伴い、廃刊) 3.21 営業店24か店にポータブル端末機30台導入 5. 9 経理部内に「証券営業室」を設置 5.29 関連会社「千葉キャピタル」設立(1986年7月 ちばぎんキャピタルと改称) 6. 1 公共債のディーリング業務開始 6. 5 本店内に「ビデオ室」開設(7月17日 CVCニュース放映開始) 6.11 「ちばぎん工業団地進出企業ローン」取扱開始 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 9 日経平均株価、初の1万円台乗せ(終値1万53円81銭) 2.23 第1回日米円・ドル委員会開催 3.19 住宅・都市整備公団千葉ニュータウン線、小室-千葉ニュータウン中央間開業 3.26 郵便局の全国オンライン網完成 4. 1 居住者によるユーロ円債の発行解禁(12月 非居住者の発行も解禁) 4. 2 銀行と証券会社で海外CP・CDの国内販売解禁 5.30 大蔵省、「日米円・ドル委員会報告書」「金融の自由化及び円の国際化についての現状と展望」を公表 6. 1 銀行等で公共債のディーリング業務解禁 10.27 千葉市のデパート・ニューナラヤ、「千葉三越」として新装オープン

年表

年	当行関連	内外時事 <small>(青字は千葉県関連)</small>
1984 <small>(昭和59)</small>	<ul style="list-style-type: none"> 7. 2 「ちばぎん貸付マンションローン」取扱開始 9. 1 新就業規則制定 	<ul style="list-style-type: none"> 11. 1 新1万円札(福沢諭吉)、新5千円札(新渡戸稲造)、新千円札(夏目漱石)発行 12. 1 邦銀・外銀を問わず、短期ユーロ円CDの発行解禁
1985 <small>(昭和60)</small>	<ul style="list-style-type: none"> 2.15 「経営企画室」「資金証券部」、企画部内に「地域開発室」を設置し、経理部、支店統括室、庶務部を廃止。業務企画室を「業務企画部」、外国部を「国際部」、店舗業務部を「管財部」と改称。東京事務所を企画部、海外駐在員事務所を国際部の部内室に統合 2.18 「ちばぎんテレホン振込サービス」取扱開始 4. 1 第1次中期経営計画「SUN UP '88」スタート 4. 1 市場金利連動型預金(MMC)取扱開始 4. - 自己啓発チャレンジ目標制度創設 6. 1 公共債担保のちばぎん総合口座取扱開始 10. 1 大口定期預金取扱開始 11. 3 緒方頭取、藍綬褒章を受章 11.28 「ちばぎんマイカーローン」取扱開始 12.23 日本橋ちばぎんビル内に「マネーマーケットセンター」を設置 	<ul style="list-style-type: none"> 1.24 常磐自動車道、三郷-柏間開通 3. 1 相互銀行や信用金庫等で市場金利連動型預金(MMC)取扱解禁(4月1日 都市銀行や地方銀行等でも解禁) 4. 1 日本電信電話(NTT)と日本たばこ産業(JT)が発足(公社民営化) 4.16 ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉設立(2016年10月 千葉交響楽団と改称) 4.24 千葉外房有料道路全線開通 6. 1 円建て銀行引受手形(BA)市場創設、金融自由化本格始動 6. 1 銀行等で公共債のフルディーリング解禁 9.22 先進5か国蔵相・中央銀行総裁会議(G5)、ドル高是正の協調介入で合意(プラザ合意) 10. 1 大口定期預金の金利自由化 10.19 東証、債券先物取引開始 12. 3 信託銀行、新型金銭信託「ヒット」取扱開始 12.20 東京電力富津火力発電所操業開始
1986 <small>(昭和61)</small>	<ul style="list-style-type: none"> 2.17 「経営企画部」(経営企画室と企画部を統合)、営業統括部内に「営業情報室」を設置し、企画部地域開発室、業務渉外部情報センターを廃止 2.17 初の女性出張所長誕生 3.31 関連会社「千葉銀投資顧問」設立(1986年7月 ちばぎん投資顧問と改称、2000年7月 中央調査情報センターと統合し、ちばぎんアセットマネジメントと改称) 4. 1 男女雇用機会均等法施行等に併い就業規則等を改定 5.23 「ちばぎんワイド事業ローン」取扱開始 6.30 「ちばぎんパソコンバンクサービス(アンサー型)」取扱開始 8. 9 銀行休業日のATM・CD稼働開始(第2・第3土曜日) 9.10 緒方頭取、地銀協会長に就任(～1987年5月) 9.10 「ちばぎん不動産ローン」取扱開始 9. - 営業店に証券レディを配置 10. 1 邦銀初の女性支店長誕生 12.15 関連会社「ちばぎんファイナンス」設立(1995年7月 ちばぎんリースと改称) 12.22 米ドル建て転換社債1億ドル発行 12.23 初の時価発行(1株780円、600万株)での公募増資により資本金278億4,000万円に 	<ul style="list-style-type: none"> 3. 3 国鉄京葉線、西船橋-千葉みなと間開業 4. 1 男女雇用機会均等法施行 4. 1 金融自由化措置(大口定期預金最低預入金額引下げ、MMC・CDの預入期間および発行枠拡大など) 4. 7 国際協調のための経済構造調整研究会、報告書(前川レポート)を提出(内需主導型の経済成長、金融資本市場の自由化・国際化の推進などを提言) 4.30 日本コンベンションセンター設立 6.15 県人口500万人突破を記念して千葉港に千葉ポートタワーオープン 8.16 金融機関、第3土曜日を休業に 9. 1 金融自由化措置(大口定期預金・MMCの最低預入金額引下げ、MMC・CDの発行枠拡大など) 10. 1 住友銀行、平和相互銀行を吸収合併 12. 1 東京オフショア市場創設
1987 <small>(昭和62)</small>	<ul style="list-style-type: none"> 2.23 本部機構の課制を廃止し、グループ制に移行。「営業企画部」を設置し、「業務開発室」(業務企画部を改称)、営業統括部営業情報室、法人業務部経営相談室を部内室に統合。「営業推進第一部」「営業推進第二部」「東京営業推進部」「次期システム準備室」を設置し、営業本部、営業統括部・同総合金融サービス推進室、個人業務部・同ローンセンター、法人業務部・同地域法人室、業務渉外部、公務部東京公務室を廃止。経営企画部を「総合企画部」と改称し、関連事業室を部内室に統合。経営企画部広報室、お客様相談室を総務部の部内室に統合。人事部内に「人材開発室」を設置し、業務審議室を廃止。公務事務部を「公務事務室」と改称し、事務企画部の部内室に統合。事務集中部住宅公庫ローン室を「ローンセンター」と改称 3.31 総預金4兆円達成 4. 1 個人別目標挑戦制度「Let's」開始 6. 1 「ちばぎん住まいのリフォームローン」取扱開始 6. 4 「ALM委員会」を設置 6.15 千葉全域CDネットワークサービス(CAN)稼働(千葉県信用農業協同組合連合会(県信連)とのCDオンライン提携) 6.22 「ちばぎんフリーローン」取扱開始 6.26 緒方頭取が会長に、玉置孝が第5代頭取に就任 7. 1 「ちばぎんVIPローン」取扱開始(1994年4月11日 新規取扱中止) 10. 1 「地域開発部」「システム開発部」を設置し、営業企画部営業情報室、次期システム準備室、システム部システム開発室を廃止 	<ul style="list-style-type: none"> 2. 9 NTT株式上場(買い注文が殺到し、翌日まで初値つかず) 2.22 先進7か国財務大臣・中央銀行総裁会議(G7)、為替相場を現行水準で安定させることで合意(ルール合意) 4. 1 JRグループ7社発足(国鉄分割民営化) 4. 3 銀行の国内転換社債発行解禁 4. 6 金融自由化措置(大口定期預金・MMCの最低預入金額引下げ、MMC・CDの発行枠拡大など) 6. 4 大蔵省、「金融資本市場の自由化、国際化に関する当面の展望」を公表 6. 9 総合保養地域整備法(リゾート法)施行 10. 5 金融自由化措置(MMCの最低預入金額引下げ、MMC・CDの発行枠拡大など) 10.19 ニューヨーク株式市場大暴落(ブラックマンデー)により世界同時株安に 11. 6 竹下登内閣成立 11.20 国内CP・非居住者ユーロ円CP発行解禁(CP市場創設) 11.20 東関東自動車道、佐原香取-潮来間開通 12. 7 バーゼル銀行監督委員会(BCBS)、銀行の自己資本比率を規制する国際統一基準を発表 12.17 千葉県東方沖地震発生(M6.7) 12.21 幕張メッセ起工式

年表

年	当行関連	内外時事 <small>(青字は千葉県関連)</small>
1987 (昭和62)	10. - 火災保険質権設定事務の本部集中開始 11.20 コマーシャルペーパー (CP) 取扱開始	
1988 (昭和63)	2. 1 「営業広報室」を設置 2.16 口座振替事務の本部集中開始 3.28 日本橋ちばぎんビル内に「総合ディーリングルーム」を設置 (国際部・資金証券部のディーリング部門を統合) 4. 1 時価発行(1株1,253円、2,000万株)での公募増資により資本金483億円に 4. 1 第2次中期経営計画「パワーアップ '91」スタート 4. 1 管理職海外視察制度創設 7.18 「千葉西事務センター」を設置 8. 1 エレクトロニックバンキング (EB) 専用単機能コンピュータ端末「パートナー」導入 8.23 不動産担保関係書類の本部集中開始 9.30 総預金5兆円達成 10. 1 「営業開発部」を設置。事務企画部公務事務室を公務部の部内に統合 10. 1 「ちばぎんLLローン」取扱開始 10.17 千葉オールエリアサービス (CAS) 稼働 (県内金融機関とのCDオンライン提携) 11. 1 資金証券部内に「証券運用室」を設置	2.23 京葉・東金・市原・朝日の4信用組合が合併、千葉県商工信用組合発足 3.24 いすみ鉄道開業 3.28 千葉都市モノレール、千城台スポーツセンター間開業 4. 1 マル優など少額貯蓄非課税制度、原則廃止 4. 4 金融自由化措置 (大口定期預金・CDの最低預入金額引下げ、CDの発行期間拡大など) 4.21 東総有料道路開通 5.31 金融先物取引法・改正証券取引法公布 (金融・証券先物市場・インサイダー取引規制の整備など) 7.11 BCBS、銀行の自己資本比率を規制する国際統一基準 (総資産の8%以上) で合意 (バーゼル I) 8. 3 千葉経済センター、房総リゾート開発構想を発表 9. 3 東証と大阪証券取引所 (以下、大証)、国内初の株価指数先物取引を開始 11. 7 金融自由化措置 (大口定期預金の最低預入金額引下げ) 12. 1 JR京葉線、蘇我-新木場間開業 12.22 大蔵省、BCBSによる自己資本比率規制国際統一基準の国内適用を通告
1989 (昭和64/平成元)	1.27 市場連動型の新短期プライムレート導入 2. 1 資金証券部を「資金営業部」「証券部」に分割し、総合企画部内に「主計室」を設置 2. 3 関連会社「ちばぎんファクター」設立 (2002年4月 ちばぎん保証と合併し、解散) 2.16 関連会社「ちばぎんディーシーカード」設立 (2023年10月 ちばぎんカードと改称) 3.31 国内無担保転換社債400億円発行 3. - ALM委員会の下部組織「金利予測部会」を設置 4. 1 株主割当での中間発行増資により資本金660億円に 5.25 「ちばぎんカードローンスペシャル」取扱開始 6. 5 市場金利連動型預金「ちばぎんスーパーMMC」取扱開始 6. 5 国債等の先物取引取次業務開始 6.12 「我孫子事務センター」を設置 (廃止済) 6.29 営業開発部内に「財務相談室」を設置し、営業企画部経営相談室を廃止。主計室を総合企画部から分離 6.30 東京金融先物市場の先物取引取次業務開始 7.17 「市川事務センター」を設置 (1992年6月1日 廃止) 8. 1 原価計算システム (事務量システム) 稼働 8.14 「船橋事務センター」を設置 (廃止済) 9. 1 千葉市に行員用スポーツ施設「更科グラウンド」開設 10. 2 総務部広報室と営業広報室を統合し、「広報部」を設置 10.25 本店営業部ロビーにて第1回「ちばぎんひまわりコンサート」開催 12.22 関連会社「ちばぎんスタッフサービス」設立 (2001年6月 ちばぎんアカウンティングサービス、2014年6月 ちばぎんキャリアサービスと改称)	1. 7 昭和天皇崩御、「平成」と改元 2. 1 相互銀行52行が普通銀行に転換。全国相互銀行協会は第2地方銀行協会と改称 2. 1 千葉相互銀行、普通銀行に転換し京葉銀行と改称 2. 4 金融機関、完全週休2日制に 2. 6 千葉市に千葉県立中央博物館開館 3.19 都営地下鉄新宿線、篠崎-一本八幡間開業 4. 1 消費税導入 (税率3%) 4. 3 金融自由化措置 (大口定期預金の最低預入金額引下げ) 4.17 房総リゾート地域整備構想を国が承認 5.27 東京湾横断道路起工式 6. 2 宇野宗佑内閣成立 7.28 千葉中央ツインビル竣工 8.10 海部俊樹内閣成立 9.25 千葉県労働金庫と千葉県内の全信用組合、CASに参加 9.27 ソニー、米映画会社大手コロンビアを買収 10. 1 県内初の民間FM放送局「エフエムサウンド千葉」開局、愛称は「bay fm」 10. 2 金融自由化措置 (大口定期預金の最低預入金額引下げ、自動継続扱い開始) 10. 9 千葉市の幕張新都心地区に幕張メッセオープン 10.26 幕張メッセで第28回東京モーターショー開幕 (~11月6日) 10.31 三菱地所、米不動産会社大手ロックフェラーグループを買収 11. 9 東ドイツ、国境検問所を開放 (ベルリンの壁崩壊) 12.29 日経平均株価、史上最高値を記録 (終値3万8,915円87銭)
1990 (平成2)	2.28 関連会社「ちばぎん総合研究所」設立 3.15 時価発行(1株1,216円、5,000万株)での公募増資により資本金1,063億円に 3.29 新電算センター「おゆみ野センター」起工式 (1991年10月16日 竣工) 4. 1 第3次中期経営計画「ジャンプアップ50」スタート 4. 1 永年勤続休暇制度・短期連続休暇制度創設 4. 2 EB専用単機能コンピュータ端末「パートナー Jr.」導入 4. - ダイレクトディーリング開始 5. 1 「経理部」を設置し、主計室を廃止 5. 1 ALM委員会の下部組織「ALM部長会」を設置 5.14 「ちばぎんC-NET資金サービス」取扱開始 5.14 「木更津事務センター」を設置 (廃止済) 6. 1 エフエムサウンド千葉でラジオCMスタート 6.11 「佐倉事務センター」を設置 (1992年3月2日 廃止) 6.11 日本橋ちばぎんビル内に常設画廊「ちばぎんアートギャラリー」開設 (2014年3月 ちばぎんひまわりギャラリーにリニューアル) 6.28 営業企画部内に「店舗企画室」を設置	2. 5 ACSと都市銀行間とのATM提携 (MICS) 開始 3.10 JR京葉線、東京-蘇我間全線開通 3.24 千葉市の幕張新都心地区に千葉マリンスタジアムオープン 3.27 大蔵省、金融機関に不動産向け融資総量規制を通告 (4月1日 発動、1991年12月20日 解除) 4. 1 三井銀行と太陽神戸銀行が合併、太陽神戸三井銀行発足 (1992年4月1日 さくら銀行と改称) 4. 1 長生信用組合と長狭信用組合が合併、房総信用組合発足 4. 2 金融自由化措置 (小口MMCの最低預入金額引下げ) 4.10 千葉市の幕張新都心地区に幕張テクノガーデンオープン 4. - 君津信用組合、安房信用組合を吸収合併 5.14 MICSの提携先拡大 (第2地方銀行・信託銀行が参加) 6.22 銀行に劣後ローン解禁 7.16 MICSの提携先拡大 (信用金庫・信用組合・農業協同組合・労働金庫が参加) 8. 2 イラク、クウェートに軍事侵攻 (湾岸危機発生) 10. 3 東西ドイツ統一

年表

年	当行関連	内外時事 <small>(青字は千葉県関連)</small>
1990 (平成2)	<ul style="list-style-type: none"> 7.24 OB・出向者の交流会「ひまわりコリーグラスクエア」発足 7. - 米2大格付機関より海外格付取得 10. 8 営業店に新端末機(FBT)導入開始(1992年2月 完了) 11. 3 緒方会長、勲二等旭日重光章を受章 11. 5 「ちばぎんスーパーMMC300」取扱開始 12. 3 「ちばぎんバンクPOSサービス」取扱開始 12.10 新提案制度「NOW」開始 	
1991 (平成3)	<ul style="list-style-type: none"> 1.13 日曜日のATM・CD稼働(サンデーバンキング)開始 2. 1 「営業推進部」(営業推進第一部と営業推進第二部を統合)、「システム企画室」、営業企画部内に「EB開発室」を設置 2. 1 地域別営業体制に移行 4. 1 「ちばぎんテレレポートサービス」取扱開始 4. 1 リフレッシュ休暇制度創設 5.15 短期プライムレート連動長期貸出金利(新長期プライムレート)導入 7.13 千葉テレビ放送でテレビCMスタート 7.25 「ちばぎんファクシミリ振込サービス」取扱開始 10. 1 営業開発部内に「国際業務推進室」を設置 10. 9 営業店に涉外活動支援システム「ハンディ端末機」導入 11. 5 自由金利定期預金「ちばぎんスーパー定期」取扱開始 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 1 銀行のテレビCM解禁 1.13 ACSの日曜日稼働開始 1.17 湾岸戦争勃発(2月28日 事実上終結) 3. 3 かずさアカデミアパークの第1期地区土地区画整理事業開始 3.19 JR成田エクスプレス開業 3.31 北総開発鉄道、京成高砂ー新鎌ヶ谷間開業 4. 1 協和銀行と埼玉銀行が合併、協和埼玉銀行発足(1992年9月21日 あさひ銀行と改称) 6.12 千葉都市モノレール、スポーツセンターー千葉間開業 7. - 金融機関の不祥事が続発(証券会社による損失補填や銀行による不正融資など) 11. 1 千葉市の幕張新都心地区にワールドビジネスガーデンオープン 11. 5 宮沢喜一内閣成立 11.25 首都圏中央連絡自動車道建設促進県民会議設立 12.25 ソビエト連邦解体、独立国家共同体(CIS)設立
1992 (平成4)	<ul style="list-style-type: none"> 2. 3 「ローン業務部」を設置し、業務集中部ローンセンターを廃止 3. 2 ロンドンに海外証券現地法人「チバイインターナショナル」設立(4月23日 業務開始、2002年4月 清算) 4. 1 育児休業制度創設 4. 1 再雇用制度創設(退職女性行員対象) 4. 1 千葉大学看護学部にて寄付講座「家族看護学講座」開講(創立50周年記念事業) 6.22 「ちばぎん貯蓄預金(20万円型・40万円型)」取扱開始 9. 6 サンデーバンキングを全店に拡大(一部都内・自治体庁舎内店舗を除く) 10. 1 「ちばぎんみどりの口座」取扱開始(創立50周年記念事業) 10.19 千葉県長寿ふれあいセンターに1億円寄付(11.4「ひまわり募金」創設、創立50周年記念事業) 11.24 千葉市に高規格救急車寄贈(政令指定都市移行を記念して) 12. 9 第1回「ちば環境文化賞」表彰式開催(千葉日報社共催、創立50周年記念事業) 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 1 地価税導入 3. 1 暴力団対策法施行 3. 7 茂原そごうオープン(2000年2月9日 閉店) 3.27 地価公示価格、17年ぶりに下落(千葉県も) 4. 1 千葉市が政令指定都市に移行(全国12番目) 4. 1 千葉急行電鉄、千葉中央ー大森台間開業 7.20 大蔵省、証券取引等監視委員会を設置 8.18 大蔵省、「金融行政の当面の運営方針」を公表 12. 6 成田空港第2旅客ターミナルの供用開始
1993 (平成5)	<ul style="list-style-type: none"> 1. 1 スポット休暇制度創設 1. 4 第3次オンラインシステム稼働 3.25 関連会社「(新)ちばぎんビジネスサービス」設立(2008年4月1日 清算) 3.28 幕張メッセにて創立50周年記念式典開催 3. - 鴨川市に保養所「鴨川グランドタワー」開設 4. 1 「経営方針96」スタート 4. 1 制服改定(創立50周年記念事業) 4.13 システム企画室を総合企画部の部内室に統合し、システム部を「システム運用部」と改称 7.30 四街道市に集合住宅「四街道社宅」開設 10. 1 総務部内に「法務室」を設置し、システム企画室を総合企画部からシステム開発部の部内室に変更 10.18 Jリーグチーム「ジェフユナイテッド市原」のキャラクター通帳・キャッシュカード発行開始 11.11 代理店方式による信託業務取扱開始 12. 1 融資第一部内に「融資企画室」を設置 	<ul style="list-style-type: none"> 1.27 共同債権買取機構設立 4. 1 金融制度改革関連法施行(銀行・証券会社の子会社方式での相互参入が可能に) 4.27 千葉そごう新店舗オープン 5.15 日本プロサッカーリーグ「Jリーグ」開幕 5.20 大蔵省、地域金融機関の店舗規制を原則撤廃 5. - 都市銀行・長期信用銀行・信託銀行、不良債権額を初公表(3業態計12兆7,000億円) 6. 9 皇太子徳仁親王ご成婚 6.21 定期預金金利、完全自由化 7.15 船橋市に屋内人工スキー場SSAWS(ザウス)オープン(2002年9月30日 閉鎖) 8. 9 細川護熙内閣成立 9. 6 コスモ証券経営危機、大和銀行が子会社化 9.29 静岡銀行・常陽銀行・八十二銀行、信託業務兼営認可(地方銀行による信託業務主体参入第1弾) 11. 1 マーストリヒト条約(欧州連合条約)発効 12.31 金融機関、年末休業に
1994 (平成6)	<ul style="list-style-type: none"> 2.21 事務集中部を廃止し、業務を事務企画部とちばぎんビジネスサービスに移管 4. 1 国際部内に「市場営業室」を設置 4. 1 能力開発型の人事考課制度に移行 5. - 不動産担保評価業務をちばぎん保証に委託 6.29 「システム部」(システム開発部とシステム運用部を統合)を設置 7.20 玉置頭取、地銀協会長に就任(~1997年5月) 9. 5 「ちばぎん金利選択型住宅ローン(ベスト・チョイス)」取扱開始 	<ul style="list-style-type: none"> 4.28 羽田孜内閣成立 5.30 市川東葛信用金庫と城東信用金庫(東京都)が合併、東京ベイ信用金庫発足 6.24 大蔵省、金利減免債権の流動化と担保不動産の自己競落等を通達 6.28 大蔵省、「金融分野における規制の緩和について」を公表 6.30 村山富市内閣成立 7.29 大蔵省、住宅ローン金利・商品性の自由化を通達 9. 4 関西国際空港開港

年表

年	当行関連	内外時事 <small>(青字は千葉県関連)</small>
1994 (平成6)	<ul style="list-style-type: none"> 12. 1 千葉市に行員用クラブ〔新〕ちばぎんクラブ開設(創立50周年記念事業) 12. 1 経理部内に「リスク管理室」を設置 12. 8 『ちばぎん50年のあゆみ』(創立50周年記念誌) 発刊 	<ul style="list-style-type: none"> 10.12 三菱銀行、日本信託銀行を子会社化 10.17 預金金利、完全自由化(当座預金を除く流動性預金の金利自由化) 10.26 かずさアカデミアパークにかずさDNA研究所開所 12. 9 東京協和信用組合と安全信用組合、経営破綻
1995 (平成7)	<ul style="list-style-type: none"> 1. 9 「ちばぎん金利選択型アパートローン」「ちばぎん金利選択型セカンドハウスローン」取扱開始 2.24 総合企画部内に「金融調査室」、国際部内に「東京国際業務推進室」を設置 3. 5 第1回「ちばぎんカップ」(Jリーグプレシーズンマッチ)開催 3.17 Jリーグチーム「柏レイソル」のキャラクター通帳・キャッシュカード発行開始 4. 3 接遇向上のための「マイカスタマー・マイランチ運動」開始 6.29 「市場営業部」(資金営業部・証券部・国際部市場営業室等を統合)を設置 6.29 関連会社「ちばぎん総合管理」設立(2004年11月 清算) 9. 1 東京営業推進部を廃止 10.16 10年物定期預金・一部解約可能型定期預金取扱開始 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 1 世界貿易機関(WTO)設立 1.13 東京共同銀行設立(経営破綻した東京協和信用組合と安全信用組合の営業譲受け、1996年9月2日 整理回収銀行に改組) 1.17 阪神・淡路大震災発生 3.20 地下鉄サリン事件発生 4. 1 北総・公団線、千葉ニュータウン中央-印西牧の原間開業 4. 1 千葉急行電鉄、大森台-ちはら台間開業 7.18 東関東自動車道館山線、姉崎袖ヶ浦-木更津南間開通 7.31 コスモ信用組合、経営破綻 8. 1 千葉都市モノレール、千葉-千葉みなと間開業 8.30 兵庫銀行と木津信用組合、経営破綻 9.26 大和銀行ニューヨーク支店巨額損失事件発覚(11月2日 米国から完全撤退命令) 10.16 定期預金の預入期間制限撤廃 12.19 政府、住専処理案を閣議決定(1996年6月21日 住専処理法施行、6,850億円の公的資金注入)
1996 (平成8)	<ul style="list-style-type: none"> 3. 6 松戸市に行員用クラブ「ちばぎん松戸クラブ」開設(2002年7月31日 廃止) 4. 1 「経営方針2001」スタート 4. 1 「法人営業部」「個人金融部」、国際部内に「アジア推進室」を設置し、地域開発部、営業開発部、国際部東京国際業務推進室、ローン業務部、融資企画室、公務部公務事務室、システム部システム企画室・システム運用センター・自動機サービスセンター、総合企画部金融調査室を廃止。管財部を総務部に統合し、融資第一部を「審査部」、融資第二部を「管理部」と改称 4. 1 新キャラクターに「タンタン&スノーウィ」採用 4.19 玉置頭取、住専処理問題で地銀協会会長として国会で参考人召喚 4. - 「融資審査の基本方針」制定 7. - 営業店LAN(愛称:ひまわりネットサポート君)導入開始(1997年3月 完了) 12.20 公式ホームページ開設 	<ul style="list-style-type: none"> 1.11 BCBS、BIS基準にマケットリスク規制を導入 1.11 橋本龍太郎内閣成立 1.19 政府、住専7社の経営情報を公表 1.29 みどり銀行、経営破綻した兵庫銀行の営業を譲り受けて営業開始 3.29 太平洋銀行経営破綻(6月6日 受け皿銀行としてさくら銀行がわかしお銀行設立) 3. - 住専処理問題で当行・千葉興業銀行・京葉銀行が債権放棄、県信連が損失負担 4. 1 三菱銀行と東京銀行が合併、東京三菱銀行発足 4. 1 千葉県庁新庁舎、供用開始 4.27 東葉高速鉄道、西船橋-東葉勝田台間開業 6.18 金融三法(健全性確保法・更生特例法・改正預金保険法)成立 7.26 預金保険機構全額出資により住宅金融債権管理機構設立 10. 1 住専7社、住宅金融債権管理機構へ財産譲渡し解散 11.11 橋本首相、「我が国金融システムの改革」を発表(日本版ビッグバン構想) 11.21 大蔵省、阪和銀行に戦後初となる銀行への業務停止命令
1997 (平成9)	<ul style="list-style-type: none"> 4. 1 複線型人事制度(G・C・Eの3コース制)に移行 5.12 松戸市に単身寮「馬橋寮」開設 5.19 新外為オンラインシステム稼働 6.27 玉置頭取が会長に、早川恒雄が第6代頭取に就任 6.27 「資産監査室」を設置 8. - 「企業倫理委員会」を設置 10. 1 「経営企画部」(総合企画部と経理部を統合)、「ネットワーク開発部」「地域情報部」、営業企画部内に「業務開発室」、事務企画部内に「効率化推進室」、人事部内に「教育研修室」を設置し、営業企画部EB推進室、公務部、法人営業部財務相談室、国際部アジア推進室・外為事務センターを廃止。経営企画部内に「主計室」「リスク管理室」「関連事業室」「東京事務所」、地域情報部内に「公務室」「プライベートバンキング室」を設置し、営業推進部を「支店部」と改称 	<ul style="list-style-type: none"> 2.21 かずさアカデミアパークにかずさアカデミアセンターオープン 4. 1 消費税率引上げ(3%→5%) 4.25 大蔵省、日産生命保険に生保初となる業務停止命令(戦後初の生保破綻) 6.30 大蔵省、「金融関係の規制の撤廃等について」を公表(普通銀行の劣後債発行解禁、変動金利定期の最長預入期間制限撤廃など) 7. 1 英国、香港を中国に返還 7. 2 タイバーツ暴落をきっかけにアジア通貨危機発生 7. 4 大蔵省、不良債権償却証明制度・有税引当の届出を廃止(自己査定に基づく償却・引当に移行) 7.30 大蔵省、総会屋への利益供与事件で野村證券と第一勧業銀行を行政処分 7.31 大蔵省、店舗設置取扱通達廃止と銀行の配当・増資規制撤廃 9. 9 全銀協、倫理憲章を制定 11. 3 三洋証券、会社更生法適用を申請(11月4日 戦後初の金融機関債務不履行発生) 11.17 北海道拓殖銀行、経営破綻(北洋銀行などへ営業譲渡) 11.24 山一証券、自主廃業 11.26 徳陽シティ銀行、経営破綻 12. 5 金融持株会社関連2法成立 12.11 京都議定書採択(地球温暖化防止のための国際協定、2005年2月16日 発効) 12.18 東京湾横断道路(東京湾アクアライン)開通

年表

年	当行関連	内外時事 <small>(青字は千葉県関連)</small>
1998 <small>(平成10)</small>	1.13 関連会社「チバキャピタルファンディング」設立(2009年9月30日 清算) 3.31 山一証券グループより中央証券の株式を取得、当行の関連会社に(2011年1月 ちばぎん証券と改称、2011年10月 完全子会社化) 3. - リスク管理システム稼働 4. 1 海外送金・外貨預金・トラベラーズチェック、全店取扱開始 4. 1 「ちばぎん借り換え住宅ローン」取扱開始 4. 1 千葉市に「ちばぎん研修センター」開設 7.28 人事部内にボランティア組織「Vネットワーク」を設置 8.17 為替特約付外貨定期預金「千両箱」取扱開始 10. 1 顧客満足度(CS)向上のための「ベストプラクティス'99」開始 10. 1 「ちばぎんテレフォンバンキングサービス」取扱開始 10. 1 「ちばぎんポイントサービス〈ひまわり宣言〉」取扱開始 10. 1 営業企画部内に「投信企画室」を設置 10.26 「ひまわりベンチャー育成基金」設立 11.24 円高対応型外貨定期預金「千里眼」取扱開始 11. - 「千葉銀行の企業倫理」制定(2021年4月1日「千葉銀行グループの企業行動指針」に改定) 12. 1 投資信託(投信)の窓口販売業務(投信窓販)開始 12. 1 「関連事業室」を経営企画部の部内室から部格に変更	2.16 千葉信用金庫と両総信用金庫が合併(商号は千葉信用金庫) 2.18 金融システム安定化二法(金融機能安定化法・改正預金保険法)施行 3.11 金融持株会社の設立解禁 3.14 JR武蔵野線、東松戸駅開業 3.20 東金九十九里有料道路開通 3.30 千葉東金道路、東金-松尾横芝間開通 3.31 都市銀行など21行に公的資金約1兆8,000億円注入 4. 1 改正外為法・改正日本銀行法施行(日本版ビッグバン始動) 4. 1 政府、早期是正措置を導入 6. 8 大蔵省、金融機関への通達を全廃 6.22 金融監督庁発足 7.30 小淵恵三内閣成立 10. 1 京成電鉄千原線、千葉急行電鉄から営業を譲り受けて運行開始 10.23 金融再生法・金融機能早期健全化法施行 10.23 日本長期信用銀行、経営破綻(金融再生法適用第1号として一時国有化) 11.12 柏市に東葛テクノプラザオープン 12. 1 金融システム改革法施行(銀行の投信窓販解禁、ディスクロージャーの拡充など) 12.13 日本債券信用銀行、特別公的管理の開始を決定 12.15 金融再生委員会設置
1999 <small>(平成11)</small>	2.24 季刊の広報誌「ラウンジ」創刊 3. 1 本部発刊通達・通知を営業店LAN掲載に切替え 4. 1 投信専用窓口を取扱全店に設置(大阪支店・出張所を除く) 4. 1 テレフォンバンキングによる投信販売開始 6. 8 国内無担保転換社債300億円発行 6.14 「ちばぎんインターネットバンキングサービス」取扱開始 6.29 「監査部」「営業統括部」「法人部」「個人部」を設置し、検査部、資産監査室、総務部法務室、営業企画部、支店部、法人営業部、地域情報部、ネットワーク開発部、個人金融部を廃止。監査部内に「コンプライアンス統括室」「検査室」「資産監査室」を設置し、経営企画部内のリスク管理室を「統合リスク管理室」と改称 7. 1 関連会社「ちばぎんローンビジネスサポート」設立(2003年7月 ちばぎん保証と統合し、解散) 9. - 「信用リスク管理委員会」を設置 10. 1 第6次中期経営計画「A・C・T2003」スタート 10. 1 顧客別営業体制(法人・個人担当)に移行 10. - コンピュータ西暦2000年問題で各種対策訓練を継続実施 12. - 「銀行支店サービス調査」(日本経済新聞社)において総合得点トップに	1. 1 欧州連合単一通貨「ユーロ」誕生 1.18 郵便貯金、ATM・CD提携サービスを開始 2. 1 サービス法施行 2. 5 都市銀行などコンビニATMサービス開始 2.12 日銀、ゼロ金利政策を導入(2000年8月11日 解除) 3.24 千葉都市モノレール、千葉-県庁前間開業 3.31 都市銀行など15行に公的資金約7兆5,000億円注入 4. 1 住宅金融債権管理機構と整理回収銀行が合併、整理回収機構(RCC)発足 4. 8 金融監督庁、「金融検査マニュアル」最終案を公表 5.14 金融監督庁、幸福銀行に初の早期是正措置を発動(5月22日 幸福銀行は経営破綻) 8.21 扇屋ジャスコ、イオングループのジャスコに吸収合併(「扇屋」の商号消滅) 10. 1 各種規制緩和実施(業態別子会社の業務制限撤廃、株式売買委託手数料の完全自由化、銀行本体による普通社債の発行解禁など) 10. 1 国際協力銀行・日本政策投資銀行・国民生活金融公庫発足 11.11 東証、新興企業向け株式市場「マザーズ」を創設
2000 <small>(平成12)</small>	2. - 頭取による欧州IR開始 3. 6 「ちばぎんデビットカード」取扱開始 3. - 株式の売出し実施(国内1,500万株、海外2,130万株) 4. 3 「ちばぎん選べる住宅ローン(ベストチョイス21)」取扱開始 4. 3 「ちばぎんモバイルバンキングサービス」取扱開始 4.10 イーネットとコンビニATMサービスで提携 5.12 信用保証協会保証付私募債取扱開始 10. 4 通帳自動繰越機導入 10.10 省資源活動「ATTACK21」開始 10.19 玉置会長(第5代頭取)死去(11月28日 お別れの会) 12. 1 「ちばぎんビジネスローン」取扱開始(スコアリング審査採用)	1. - コンピュータ西暦2000年問題、大きな混乱なく終息 2. 1 組織的犯罪処罰法施行 3. 1 日本長期信用銀行、米投資ファンドに売却(6月5日 新生銀行と改称) 4. 1 民事再生法施行 4. 1 三井信託銀行と中央信託銀行が合併、中央三井信託銀行発足 4. 5 森喜朗内閣成立 5. 1 第一火災海上保険、経営破綻(戦後初の損保破綻) 5.31 金融監督庁、第百生命保険に業務停止命令 6.19 大証で店頭株式新市場「ナスダック・ジャパン」取引開始 7. 1 金融監督庁と大蔵省金融企画局が統合、金融庁発足 7. 7 東京ディズニーリゾートに複合型商業施設イクスピアリオープン 7.12 百貨店大手そごうグループ、民事再生法適用を申請 7.13 木更津そごう閉店 7.19 新紙幣2千円札(沖縄の守礼門)発行 7.22 北総・公団線、印西牧の原-印旛日本医大間開業 9. 1 日本債権信用銀行、ソフトバンク・オリックス・東京海上火災保険の3社連合に売却(2001年1月4日 あおぞら銀行と改称) 9.29 第一勧業銀行・富士銀行・日本興業銀行が経営統合、みずほホールディングス発足

年表

年	当行関連	内外時事 <small>(青字は千葉県関連)</small>
2000 (平成12)		9.30 千葉興業銀行、早期健全化法に基づく公的資金約600億円を受入れ 10.12 ジャパンネット銀行営業開始(日本初のネット専門銀行) 11.30 改正証券投資信託法施行(不動産投資信託(日本版REIT)解禁)
2001 (平成13)	2. 1 「IPS事業部」(部長含む全メンバーを公募で選出)、経営企画部内に「グループ統括室」を設置し、関連事業室を廃止。監査部内の検査室を「業務監査室」と改称 2. 1 仮想店舗「ひまわり第一支店」「ひまわり第二支店」を設置 3. 4 シンジケートローンで初のアレンジャー(主幹事)に 4. 2 「ちばぎんマイアクセス」取扱開始 4. 2 損害保険の窓口販売業務(保険窓販)開始 4.18 PFI事業の銀行団に参加 6.28 コンプライアンス統括室を監査部から総務部の部内室に変更 7.16 営業店システム・融資業務管理システム・CRM(顧客情報管理)システム導入開始(2002年3月完了) 10. 1 「審査二部」を設置 10. 1 初の公募支店長誕生 10. 1 関連会社「ちば債権回収」設立(2002年1月15日 営業開始) 11.26 「ちばぎんインターネットEBサービス(Web-EB)」取扱開始 11. - 確定拠出年金(企業型年金)取扱開始	1. 4 日銀、日銀当座預金と国債の決済方法を即時グロス決済(RTGS)に移行 1. 6 中央省庁、1府12省庁に再編 3.19 日銀、量的金融緩和政策導入・ゼロ金利政策復活(2006年3月9日 量的金融緩和政策解除、2006年7月14日 ゼロ金利政策解除) 3.31 大阪府にユニバーサル・スタジオ・ジャパンオープン 4. 1 金融商品販売法・消費者契約法施行 4. 1 保険業法の改正により銀行の保険窓販一部解禁 4. 1 さくら銀行と住友銀行が合併、三井住友銀行発足 4. 2 東京三菱銀行・三菱信託銀行・日本信託銀行が経営統合、三菱東京フィナンシャル・グループ発足 4. 2 三和銀行・東海銀行・東洋信託銀行が経営統合、UFJホールディングス発足 4. 5 千葉県知事に堂本暁子就任 4.26 小泉純一郎内閣成立 5. 7 アイワイバンク銀行営業開始(コンビニATM事業) 5.11 千葉県商工信用組合、経営破綻 6.11 ソニー銀行営業開始(ネット専門銀行) 7.23 イーバンク銀行営業開始(ネット専門銀行) 9. 4 東京ディズニーリゾートに東京ディズニーシーオープン 9.11 米国で同時多発テロ発生 10. 1 確定拠出年金法施行(日本版401k) 10. 1 三菱信託銀行、日本信託銀行と東京信託銀行を合併 12.12 大和銀行・近畿大阪銀行・奈良銀行が経営統合、大和銀ホールディングス発足
2002 (平成14)	2. 1 確定拠出年金(個人型年金)取扱開始 2.18 アイワイバンク銀行とコンビニATMサービスで提携 3.31 集合社宅「都賀社宅」「総台社宅」廃止(ともに設置時期不詳) 3. - ちばぎんリースの再建完了 4. 1 収益管理システム導入 4. 1 「ちばぎん振込入金照合サービス(消込マスター)」取扱開始 4.22 住宅金融公庫との協調融資商品「ちばぎんくすまい・るパッケージ」取扱開始 6.27 「市場業務部」を設置し、市場営業部業務管理室、国際部を廃止 7.29 企業ニーズ掲示板サイト「ビジネス@ちばぎん」開設 10. 1 年金保険販売開始 12. 2 インターネットによる投信販売開始	1. 4 銀行等株式保有制限法施行 1. 4 千葉・成田・木更津の3信用金庫が合併(商号は千葉信用金庫) 1.15 三和銀行と東海銀行が合併、UFJ銀行発足 1.25 船橋信用金庫、経営破綻 1.30 銀行等保有株式取得機構設立 3. 1 大和銀ホールディングス、あさひ銀行を子会社化 3.11 日本承継銀行設立(経営破綻した石川銀行と中部銀行の営業譲受け) 4. 1 第一勧業銀行・富士銀行・日本興業銀行が合併・分割、みずほ銀行・みずほコーポレート銀行発足(営業初日にみずほ銀行で大規模システム障害発生) 4. 1 改正銀行法施行(主要株主認可制、店舗設置届出制など) 4.18 成田空港、暫定滑走路の供用開始 5.28 経済団体連合会と日本経営者団体連盟が統合、日本経済団体連合会(経団連)発足 9.17 県人口600万人突破 10. 1 銀行の生命保険販売解禁 10.27 芝山鉄道、東成田ー芝山千代田間開業 10.30 金融庁、「金融再生プログラム」を公表 11.18 銚子信用金庫と旭信用金庫が合併(商号は銚子信用金庫) 11.29 日銀、金融機関保有株式の買入れを開始 12. 2 三井住友フィナンシャルグループ(三井住友銀行の持株会社)設立 12.11 金融機関組織再編特措法成立
2003 (平成15)	2. 3 個人向け国債取扱開始 3. 7 千葉大学主催「なのはなベンチャーコンペ2003」に特別協賛(創立60周年記念事業) 3.16 富津市の鬼沼山にて「ちばぎんの森」植樹活動(創立60周年記念事業) 4. 1 第7次中期経営計画「創造とスピードの100週間」スタート 4. 1 執行役員制度導入。「経営会議」を設置し、常務会を廃止 4. 1 本部機構に2部門制(コーポレート・スタッフ部門と業務部門)導入。「与信企画部」「ダイレクトチャネル部」を設置し、IPS事業部、個人部テレフォンバンキングセンター、すべての部内室を廃止	1. 6 本人確認法施行 3. 1 大和銀行とあさひ銀行が合併・分割、りそな銀行・埼玉りそな銀行発足 3.12 世界保健機関(WHO)、SARS(重症急性呼吸器症候群)のグローバルアラートを発出 3.17 わかしお銀行と三井住友銀行が逆さ合併(商号は三井住友銀行) 4. 1 日本郵政公社発足(2007年10月 民営化) 4.16 産業再生機構設立 6. 6 野田市と関宿町が合併、野田市誕生(県内初「平成の大合併」) 6.10 金融庁、りそな銀行に1兆9,600億円の公的資金注入決定

年表

年	当行関連	内外時事 <small>(青字は千葉県関連)</small>
2003 <small>(平成15)</small>	<ul style="list-style-type: none"> 6. 1 九十九里浜クリーンウォーク実施(創立60周年記念事業) 6. - PFI事業のプロジェクトファイナンスで初のアレンジャーに 7.22 融資に関する相談・苦情窓口「ちばぎん融資ホットライン」開設 7. - 株式の売出し実施(国内3,393万株) 8. - 「リレーションシップバンキングの機能強化計画」を公表 9.12 住宅ローン「職人技」取扱開始 9. - 「千葉県版CLO」のアレンジャーに 10. 1 中央・船橋・柏ブロックに「地区法人営業部」を設置(2004年10月 市川ブロックにも設置) 10. 1 審査二部内に「企業戦略支援チーム」を設置 10. - 「千葉県中小企業再生支援協議会」の活用開始 11.13 劣後特約付無担保社債100億円発行 12. 8 緒方相談役(第4代頭取)死去(2004年1月15日 お別れの会) 	<ul style="list-style-type: none"> 6.30 金融庁、ビジネスマッチング業務を付随業務とするなど事務ガイドラインを一部改正 11.29 足利銀行、経営破綻(一時国有化) 12. 1 地上デジタルテレビ放送開始(2011年7月24日 地上アナログ放送終了)
2004 <small>(平成16)</small>	<ul style="list-style-type: none"> 1.17 勘定系システム障害発生(ATMなど休止) 2. 2 銀行保証付私募債取扱開始 2. 2 「ちばぎん長期固定金利型住宅ローン(公庫買取型)〈フラット35〉」取扱開始 2.19 当行・千葉興業銀行・京葉銀行が中心となり「ちば再生ファンド」設立 3. 1 「千葉県CLOファンド(愛称:なのほな)」募集開始 3.15 自動機監視業務の委託先をちばぎんキャッシュビジネスから日本ATMに変更(グループ外委託) 4. - ホストコンピュータ更改計画策定(2007年の稼働目標) 5.17 日本郵政公社とATMの相互利用で提携 6.29 副頭取の石井俊昭が会長に、竹山正が第7代頭取に、早川頭取が相談役に就任 7. 1 千葉県信用保証協会提携保証制度「スパート3000」取扱開始 10. 1 ブロック幹事店に企業戦略支援担当の配置開始(2005年4月 全ブロック拡大) 10. 1 システム運用業務を日本アイ・ビー・エムに委託 11.10 有料ビジネスマッチング取扱開始 11.15 千葉県CLO活用資金融資申込受付開始 12. 7 学習・研修ツール「e-ラーニング」導入 	<ul style="list-style-type: none"> 2. 4 千葉県住宅供給公社、自主再建を断念し特定調停申立て(2005年1月21日 調停成立により911億円の債務整理) 4. 1 新東京国際空港空団が民営化により成田国際空港設立(呼称も成田国際空港に) 4.21 日本振興銀行営業開始(中小企業向け融資、個人向け定期預金専門) 5.29 富津館山道路、鋸南富山ー富浦間開通で全線開通 5.31 金融庁、「中小・地域金融機関向けの総合的な監督指針」の適用開始 8. 1 金融機能強化法施行 9. 1 北陸銀行と北海道銀行が経営統合、ほくほくフィナンシャルグループ発足 10. 1 西日本銀行と福岡シティ銀行が合併、西日本シティ銀行発足 10.13 ダイエー、自主再建を断念し産業再生機構に支援要請 11. 1 新1万円札(福沢諭吉)、新5千円札(樋口一葉)、新千円札(野口英世)発行 12. 1 銀行の証券仲介業務解禁 12.24 金融庁、「金融改革プログラム」を公表 12.30 改正信託業法施行(受託可能財産の制限撤廃など)
2005 <small>(平成17)</small>	<ul style="list-style-type: none"> 1.18 初の大型商談会「ちばぎんITフォーラム」開催 2. 1 証券仲介業務、25か店で開始(2006年4月28日 全店に拡大、2007年9月 金融商品仲介業務と改称) 2. 7 決済用普通預金取扱開始 2.10 大口無担保融資商品「サービスエース」取扱開始 3.13 富津市の鬼泪山にて「ちばぎんの森(第2)」植樹活動 3. - 個人情報保護に関する基本方針「個人情報保護宣言」を公表 4. 1 第8次中期経営計画「『価値創造』へ向けて 挑戦と革新の100週間」スタート 4. 1 「支店支援部」を設置し、審査二部を廃止 4. 1 子の看護休暇制度・出産時の父親休暇制度創設 4.11 本体発行クレジットカード「ちばぎんスーパーカード」取扱開始 7. 1 人事制度改定(3コース制からG・Cの2コース制に移行) 8. - 「地域密着型金融推進計画」を公表 9.14 障がい者雇用優良事業所として厚生労働大臣表彰を受賞 10. 3 CS向上キャンペーン「熱血CS宣言」開始 10.17 ICキャッシュカード発行開始 10.17 クレジットカード・ICキャッシュカード一体型「ちばぎんスーパーカード(一体型)」取扱開始 10.17 「Web-EB」に外為サービス機能追加 11.18 「ちばぎんエコ住宅ローン」取扱開始 11.21 「ちばぎんビジネスローン・エコ」取扱開始 11.30 「女性いきいきキャリアアップ宣言」を公表 12.21 千葉大学と産学連携で協定 12.21 増資により資本金1,450億円に 	<ul style="list-style-type: none"> 3.29 金融庁、「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」を公表 4. 1 個人情報保護法全面施行 4. 1 次世代育成支援対策推進法(次世代法)施行 4. 1 ペイオフ全面解禁 4. 1 BNPパリバ信託銀行公有化により新銀行東京が営業開始 7. 1 金融庁、「金融検査に関する基本指針」を公表(金融検査評価制度を導入) 7.23 千葉県北西部地震発生(M6.0) 8.24 つくばエクスプレス、秋葉原ーつくば間開業 10. 1 日本道路公団分割民営化 10. 1 三菱東京フィナンシャル・グループとUFJホールディングスが経営統合、三菱UFJフィナンシャル・グループ発足 10.14 郵政民営化関連6法成立 10.16 ジェフユナイテッド市原・千葉の新スタジアムフクダ電子アリーナオープン 11.28 千葉県、千葉市に65億円拠出しモノレール事業から撤退 12.22 銀行の保険窓販拡大(一時払終身保険など解禁)
2006 <small>(平成18)</small>	<ul style="list-style-type: none"> 2.20 一時払終身保険販売開始 4. 1 シニア・スタッフ制度創設(60歳以降の雇用を延長) 4. 1 人事制度改定(Cコースの職位に支店長を追加) 4.17 「e-KIJUN」導入(事務基準の電子化) 4.29 早川相談役、旭日中綬章を受章 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 1 東京三菱銀行とUFJ銀行が合併、三菱東京UFJ銀行発足 1.23 証券取引法違反容疑でライブドア社長ら逮捕 2.10 偽造・盗難カード預金者保護法施行 3.31 「千葉中小企業再生ファンド」設立 4. 1 改正銀行法施行(銀行代理店制度、子会社規制緩和など)

年表

年	当行関連	内外時事 <small>(青字は千葉県関連)</small>
2006 (平成18)	5.17 セブン銀行と銀行代理業務で提携 5.23 「業務の適正を確保する体制の整備に係る基本方針」を公表 6. 8 信託業務・相続関連業務開始(本体参入) 7. 1 クールビズ導入 7. 1 再雇用制度「リ・キャリアプラン」創設 7. - 「オペレーショナルリスク管理委員会」を設置 8. 7 ICキャッシュカード対応ATMに生体認証による本人確認機能追加 8.14 「Web-EB」に代金回収サービス機能追加 9.11 大口カードローン「プレミアクラス」取扱開始 9.28 劣後特約付無担保社債100億円発行 10. 2 イントラネット「ひまわりネットBizAssist」導入(2007年4月 本格稼働、2017年10月「BizAssist Plus」に切替え) 10.30 インターネットバンキングの不正使用被害に対する補償開始 12. 1 行員登用制度「ネクスト・ステージプラン」創設 12. 1 関連会社「ちばぎんハートフル」設立(2007年4月 業務開始、2007年5月 障害者雇用促進法に基づく特例子会社に認定) 12. - 「千葉中小企業再生ファンド」の活用開始	4. 1 改正高年齢者雇用安定法施行(定年年齢の引上げなど) 5. 1 会社法施行 6. 5 証券取引法違反容疑で村上ファンド代表逮捕 8.11 日銀、公定歩合を「基準割引率および基準貸付利率」と改称 9.26 第1次安倍晋三内閣成立 10. 2 山口銀行ともみじホールディングスが経営統合、山口フィナンシャルグループ発足 11.22 柏市に商業施設らばーとと柏の葉オープン
2007 (平成19)	1. 3 ホストコンピュータ更改 3.16 2005～2006年に発覚した6件の不祥事件に関し、関東財務局より業務改善命令(4月13日 業務改善計画提出) 4. 1 第9次中期経営計画「地域とともに歩む 信頼と成長の100週間」スタート 4. - 千葉大学にて寄付講座「実務家による金融基礎知識」開講(野村證券千葉支店との共同講座) 5. 7 JR東日本とATMサービスで提携 6. 5 寄付型投資信託「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)(愛称：ワールドサポーター)」募集開始 6.28 「リスク・コンプライアンス統括部」「業務集中部」「支店支援部」(支店支援部・個人部・ダイレクトチャネル部を統合)を設置し、営業統括部を「営業企画部」、法人部を「営業開発部」と改称 6.28 業務別営業体制(営業担当・融資担当)に移行(2008年3月31日 地区法人営業部・企業戦略支援担当を廃止) 9.18 ローソン・エイティエム・ネットワークスとコンビニATMサービスで提携 9.20 ATMに外貨普通預金取引機能追加 10.29 イオン銀行とATMサービスで提携 10.29 横浜銀行・東京都民銀行とATM利用手数料優遇で提携 11. - 「地域密着型金融の推進に関する基本方針」を公表	1. 4 改正本人確認法施行 1. 4 投資信託振替制度開始(受益証券のペーパーレス化) 2. 1 大型観光キャンペーン「ちばデスティネーションキャンペーン」開始 3.15 産業再生機構、支援業務完了により解散 3.22 千葉県の地価公示価格、16年ぶりに上昇 3.31 バーゼルⅡ(新自己資本比率規制)適用開始 4. 2 福岡銀行と熊本ファミリー銀行が経営統合、ふくおかフィナンシャルグループ発足 7. 4 館山自動車道、君津-富津中央間開通 8.15 米国のサブプライムローン問題が表面化、世界同時株安に 9. 8 市原市に商業施設ユニモちはら台オープン 9.24 住信SBIネット銀行営業開始(ネット専門銀行) 9.26 福田康夫内閣成立 9.30 金融商品取引法施行 10. 1 日本郵政グループ(日本郵政・郵便事業・郵便局・ゆうちょ銀行・かんぽ生命保険)発足 10. 1 ふくおかフィナンシャルグループ、親和銀行を子会社化 10.20 千葉市に官民複合ビルQiball(きぼーる)開館 10.29 イオン銀行営業開始 12.21 金融庁、「金融・資本市場競争力強化プラン」(ベター・レギュレーション)を公表 12.22 銀行の保険窓販全面解禁
2008 (平成20)	1.11 定期保険・終身保険販売開始 1. - 接遇向上運動「ちばぎんハートフルプロジェクト」開始 2. 8 地銀7行(千葉・横浜・群馬・静岡・常陽・八十二・山梨中央)で「地銀住宅ローン共同研究会」設立 3.13 劣後特約付無担保社債200億円発行 3.31 株主優待制度導入(カタログギフト) 3.31 第四銀行・北國銀行・中国銀行・伊予銀行とシステム共同化に向けた「TSUBASAプロジェクト」発足 4. 1 「事務サービス部」を設置し、ちばぎんビジネスサービスの全業務を移管 4.18 医療保険・がん保険販売開始 5.16 「振り込め詐欺被害者相談窓口」(ホットライン)開設 5.19 女性専用住宅ローン「ロング・エスコート」取扱開始(地銀住宅ローン共同研究会企画) 7.14 生活特典付住宅ローン「ハッピーエブリデー」取扱開始(地銀住宅ローン共同研究会企画) 7. - 「銀行リテール力調査」(日本経済新聞社・日経リサーチ)において総合1位に(2009年も2年連続で総合1位に) 8. 4 武蔵野銀行・常陽銀行・関東つくば銀行とATM利用手数料優遇で提携 10.16 電話受付事務・諸届管理事務の本部集中開始(2009年9月完了) 10. - 海外支店長等の決裁権限見直し(マーケットリスク管理の強化)	3. 1 犯罪収益移転防止法施行(資金洗浄防止、預貯金通帳の売買禁止など) 3.14 金融庁、足利銀行の受け皿を野村ホールディングスグループ設立の足利ホールディングスに決定 4.18 金融庁、「金融サービスにおけるプリンシプル」を公表 6.21 振り込め詐欺救済法施行 9.15 米投資銀行大手リーマン・ブラザーズ、経営破綻(世界的金融危機発生) 9.24 麻生太郎内閣成立 10. 1 政府系金融機関4機関が統合、日本政策金融公庫発足 10. 1 日本政策投資銀行(政投銀)設立 10.10 大和生命、経営破綻 10.13 三菱UFJフィナンシャル・グループ、米証券大手モルガン・スタンレーに巨額出資 10.14 北洋銀行と札幌銀行が合併(商号は北洋銀行) 10. - 野村ホールディングス、リーマン・ブラザーズのアジア太平洋地域部門と欧州中東地域部門の一部を継承 11.26 インドのムンバイで同時多発テロ発生 12. 1 電子記録債権法施行 12.17 改正金融機能強化法・改正金融機関組織再編特措法施行

年表

年	当行関連	内外時事 <small>(青字は千葉県関連)</small>
2008 <small>(平成20)</small>	<ul style="list-style-type: none"> 12.12 バンコック銀行(タイ)・交通銀行(中国)と国際業務で提携 12.23 コンサルティングプラザ内に「中小企業金融休日相談窓口」開設 	
2009 <small>(平成21)</small>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 1 ATM365日稼働開始 3. 1 竹山頭取が会長に、佐久間英利が第8代頭取に就任 3. 9 ちはら台支店に店舗初の太陽光発電システム設置 3.18 劣後特約付無担保社債100億円発行 4. 1 第10次中期経営計画「1st1st(ダブルファースト)」スタート 4. 1 CS優良店認定制度創設 4. 1 千葉県農業信用基金協会保証付融資制度取扱開始 4.23 業務集中部内に住宅ローン返済相談部署「カウンセリングチーム」を設置 5.12 次世代法に基づく認定マーク「くるみん」取得 5.15 振込管理事務の本部集中開始(2010年4月 完了) 6.26 本部機構に3ユニット制(企画管理ユニット・審査ユニット・営業ユニット)導入。「企業サポート部」「リスク管理部」「コンプライアンス部」を設置し、リスク・コンプライアンス統括部、与信企画部を廃止 9.28 「ちばぎんの森」植樹活動が千葉県の「森林整備によるCO₂吸収量認証制度」第1号に認証 10. 1 「CSR推進室」「コンサルティング営業部」を設置 10. - 「グループCSR活動方針」を公表(2019年7月1日 ちばぎんグループサステナビリティ方針に改定) 11.29 全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」千葉大会を初開催(千葉興業銀行との共催) 11.30 公益信託「ちばぎんハートフル福祉基金」設定 11. - 「金融円滑化委員会」を設置 12.14 東京都墨田区に単身寮「錦糸町寮」開設 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 5 株券電子化開始 1. 5 ゆうちょ銀行、全銀システムに接続し加盟行と相互振込が可能に 3.10 日経平均株価、バブル崩壊後最安値を記録(終値7,054円98銭) 4. 5 千葉県知事に森田健作就任 4.13 幕張インターナショナルスクール開校 4.30 米自動車メーカー大手クライスラー、経営破綻 5.21 裁判員制度導入 6. 1 米自動車メーカー大手ゼネラルモーターズ(GM)、経営破綻 6.12 WHO、新型インフルエンザのフェーズ6(世界的大流行)を宣言 6.14 千葉市長に熊谷俊人就任(全国最年少市長の誕生) 8. 1 東京湾アクアライン通行料金800円に割引開始 9. 1 消費者庁発足 9.16 鳩山由紀夫内閣成立 10. 1 三井住友銀行、日興コーディアル証券など米シティグループの事業の一部を買収 10.14 企業再生支援機構設立(2013年3月18日 地域経済活性化支援機構と改称) 10.22 成田国際空港、B滑走路(2,500m)の供用開始 12. 4 中小企業金融円滑化法施行(2011年3月末までの時限立法、期限が延長され2013年3月末に失効) 12.31 日本郵政グループ株式売却凍結法施行
2010 <small>(平成22)</small>	<ul style="list-style-type: none"> 2.16 本体発行プレミアムクレジットカード「ザ・クラス」[エクスステージ]取扱開始 2. - 「金融円滑化に関する方針」を公表 3. 8 コールセンター(テレフォンバンキング)システムを共同化(TSUBASAプロジェクト) 3.28 白子町にて「ちばぎんの森(第3)」植樹活動 3.31 2010年度の株主優待制度に「金融コース」新設 4. 1 人事制度改定(職階増設、企画業務型裁量労働制導入など) 4.26 本部一支部間のテレビ会議システム運用開始 4.26 平準払終身保険販売開始 6.24 CO₂排出削減促進策「国内クレジット制度」活用支援開始 6.29 経営企画部内に「広報室」、人事部内に「人材育成推進室」、営業企画部内に「ビジネス開発室」を設置し、広報部を廃止 6.29 役員報酬制度改定(役員退職慰労金廃止、ストックオプション導入など) 7. 1 ロンバー・オディエ・ダリエ・ヘンチ信託とプライベートバンキング業務で提携 7.12 「UNEP FI(国連環境計画・金融イニシアティブ)」に参加 7.20 CRMシステムを共同化(TSUBASAプロジェクト) 9. - 「ゆめ半島千葉国体」「ゆめ半島千葉大会」に協賛(役員・OBがボランティア参加) 10. 1 営業開発部内に「成長ビジネスサポート室」を設置 10. 1 金融商品仲介業務に「紹介型仲介」導入 10.25 ちばぎん日本橋ビルの建替えに伴い東京営業部・市場営業部などが仮移転 10. - 自己株式1,000万株取得 	<ul style="list-style-type: none"> 1.19 日本航空、会社更生法適用を申請し経営破綻 1.25 第3セクターのかずさアカデミアパーク、経営破綻 2.15 信用保証協会、「景気対応緊急保証制度」を創設(保証割合100%) 3. 1 関東つくば銀行と茨城銀行が合併、筑波銀行発足 6. 8 菅直人内閣成立 6.15 日銀、「成長基盤強化資金」を導入 6.18 貸金業法全面施行(上限金利引下げ、総量規制導入など) 7.17 京成成田空港線(成田スカイアクセス)開業 9.10 日本振興銀行、経営破綻(初のペイオフ発動) 9.12 BCBS、バーゼルⅢ(新自己資本比率規制)を公表(2013年3月31日 段階適用開始) 9.28 消費者金融大手の武富士、会社更生法適用を申請し経営破綻 10. 1 全銀協、金融ADR制度に基づく指定紛争解決機関に 10. 5 日銀、実質的なゼロ金利政策を復活
2011 <small>(平成23)</small>	<ul style="list-style-type: none"> 1.26 千葉工業大学(千葉工大)と産学連携で協定 2. 7 営業店システムを共同化(TSUBASAプロジェクト) 3. 7 医療事業者向け「ちばぎん生保付メディカルローン」取扱開始 3.18 「東北地方太平洋沖地震被害復旧融資制度」取扱開始 3.19 コンサルティングプラザ千葉内に「東北地方太平洋沖地震被災者休日相談窓口」開設 3. - 東日本大震災により76拠点で建物一部損壊、計画停電に伴うATM臨時休止 4. 1 第11次中期経営計画「フロンティア70」スタート 4. 1 次世代法に基づく一般事業主行動計画を公表 5. 9 新入行員を対象とした農業体験研修導入 5.16 ローン自動審査システム更改 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 1 「チーバくん」が千葉県のマスコットキャラクターに 1.20 中国、2010年のGDP(国内総生産)で日本を抜き、世界第2位の経済大国に 3.11 東北地方太平洋沖地震発生(M9.0)、福島第一原子力発電所で事故(東日本大震災) 3.11 東日本大震災により旭市などで津波、浦安市などで液状化現象、市原市で石油コンビナートのタンク爆発などの被害発生 3.14 東京電力、計画停電を開始 3.15 みずほ銀行で大規模システム障害発生 4. 1 信用保証協会、「セーフティネット保証制度」創設(保証割合100%)

年表

年	当行関連	内外時事 <small>(青字は千葉県関連)</small>
2011 (平成23)	5.28 千葉県農産品販売フェア「ちばざんマルシェ」開催 5. - 自己株式1,200万株取得(～6月) 6. 1 「がんばろう千葉 観光応援定期預金」取扱開始 6. 1 「節電ピズ」導入(クールピズ対応ジャケットや「がんばろう千葉」ロゴ入りポロシャツの着用) 6.27 スタンダードチャータード銀行(英国)と国際業務で提携 6.29 「法人営業部」「地域営業部」「資産運用サポート部」「経営管理部」を設置し、営業開発部、コンサルティング営業部、人事部、総務部を廃止。監査部を取締役会直轄に 9.22 千葉県に震災復興支援の寄付 9.27 劣後特約付無担保社債100億円発行(小口投資家向け) 10. 3 業務スキル判定導入 10. 3 経営管理部内に「女性活躍サポートチーム」を設置 10. 3 「Web-EB」に高機能版追加 11.30 千葉市と地域活性化で連携協定 12. 8 「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則(21世紀金融行動原則)」に署名	4. 1 住友信託銀行と中央三井トラスト・ホールディングスが経営統合、三井住友トラスト・ホールディングス発足 4. 1 千葉県、「災害復旧・復興本部」を設置 9. 2 野田佳彦内閣成立(千葉県選出議員初の首相に) 9.30 預金保険機構、日本振興銀行の最終受け皿をイオン銀行に決定 10. 3 山口フィナンシャルグループ傘下の北九州銀行営業開始 10.26 2010年の国勢調査で日本の人口が初の減少に
2012 (平成24)	1.10 日本通運と国際業務で提携 1.31 日本興亜損害保険と国際業務で提携 4. 2 山梨中央銀行とATM利用手数料優遇で提携 4. 2 「環境格付融資制度(愛称:ちばざんエコ・ステップ)」取扱開始 4.18 中国元建て外国送金取扱開始 4.25 CIMBニアガ銀行(インドネシア)と国際業務で提携 4.25 TSUBASAプロジェクトに東邦銀行が参加 4. - 「お客さまサービス改善委員会」を設置 5.17 蘇我事務センタービル竣工 5. - 自己株式1,000万株取得(～6月) 6.13 佐久間頭取、地銀協会長に就任(～2013年6月) 6.15 千葉県と国際ビジネス振興の分野で連携協定 6.28 「人材育成部」「IT戦略室」「広報CSR部」を設置し、管理部を企業サポート部に統合 7. 2 ちばざん証券に「銀証連携チーム」を設置 7. 5 日本貿易保険と国際業務で提携 8. - 自己株式2,000万株消却 9.10 「太陽光発電事業支援融資制度(愛称:ちばざんエコ・パワー)」取扱開始 9.21 セコムと国際業務で提携 10.15 「ちばざん研究開発助成制度」創設(創立70周年記念事業) 10.15 「学生版ビジネスアイデアコンテスト」創設(創立70周年記念事業) 10.17 第四銀行・中国銀行と基幹系システムの共同化で基本合意(TSUBASAプロジェクト) 10.21 「ちばアクアラインマラソン」に協賛(役職員がボランティア参加) 11.17 創立70周年記念「ちばざんひまわりコンサート」開催(2013年4月にも開催) 11. - 自己株式1,000万株取得(～12月)	1.30 東日本大震災の影響などで県人口が1万人超の減少(統計のある1920年以降で初の減少) 2.10 復興庁発足 2.22 東日本大震災事業者再生支援機構設立 2.27 半導体メモリー大手エルピーダメモリー、会社更生法適用を申請し経営破綻 3. 1 国内系初の格安航空会社(LCC)「Peach Aviation」(ピーチ)、関西国際空港で就航 4. 1 日本政策金融公庫から分離・独立し、国際協力銀行発足 4. 1 住友信託銀行・中央三井信託銀行・中央三井アセット信託銀行が合併、三井住友信託銀行発足 4.13 木更津市に商業施設三井アウトレットパーク木更津オープン 5.10 欧州金融安定基金(EFSF)、ギリシャに42億ユーロの資金支援 5.22 東京スカイツリー開業 7. 1 再生可能エネルギー固定価格買取制度開始 7. 3 格安航空会社(LCC)「ジェットスター・ジャパン」、成田国際空港で就航 7.31 政府、東京電力に1兆円を出資し実質国有化 9.11 政府、尖閣諸島の国有化を決定(日中関係悪化) 10. 1 郵便局と郵便事業が統合、日本郵便発足 10.21 ちばアクアラインマラソン2012開催 12.26 第2次安倍晋三内閣成立(アベノミクス始動)
2013 (平成25)	1.18 学資保険販売開始 2.18 「ちばざんでんさいサービス」取扱開始 2.19 旧木更津支店跡地に「ちばざんひまわり憩いの広場」オープン(創立70周年記念事業) 2.23 山武市の連沼海岸にて「ちばざんの森(第4)」植樹活動(創立70周年記念事業) 3. 6 日本赤十字社千葉県支部に移動採血車寄贈(創立70周年記念事業) 3. 6 館山市にて「ちばざんひまわり寄席」初開催(創立70周年記念事業) 3. 6 香港貿易発展局と国際業務で提携 3.13 インドステイト銀行(インド)と国際業務で提携 4. 1 通帳・ICキャッシュカードのデザイン全面改定(創立70周年記念事業) 4. 1 千葉県福祉財団を改組し「ちばざんみらい財団」設立(創立70周年記念事業) 4. 5 千葉市に「ちばざん金融資料室」オープン(創立70周年記念事業、2020年9月 新本店ビル内に移設) 5.16 中国人民元建て外貨預金取扱開始	1. 1 東証グループと大証が経営統合、日本取引所グループ発足 1.22 日銀、2%の物価安定目標(インフレ・ターゲット)導入を決定 1.22 政府と日銀、「デフレ脱却と持続的な経済成長の実現のための政府・日本銀行の政策連携について(共同声明)」を公表 2.18 全銀電子債権ネットワーク(でんさいネット)開業 4. 1 改正犯罪収益移転防止法施行 4. 4 日銀、量的・質的金融緩和と政策導入 4.15 東京ディズニーランド開園30周年 4.19 酒々井町に商業施設酒々井プレミアム・アウトレットオープン 4.27 首都圏中央連絡自動車道(圏央道)、木更津東-東金間開通 6.14 政府、「日本再興戦略」を閣議決定 7. 1 みずほ銀行とみずほコーポレート銀行が合併(商号はみずほ銀行) 7.31 成田空港活用協議会設立 9. 8 2020年夏季オリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定

年表

年	当行関連	内外時事 <small>(青字は千葉県関連)</small>
2013 <small>(平成25)</small>	<ul style="list-style-type: none"> 5.23 県内11金融機関・農林漁業成長産業化支援機構で「ちば農林漁業6次産業化ファンド」設立 5.27 「ちばぎん教育資金贈与専用口座」取扱開始 6.14 少額投資非課税制度(NISA)受付開始 7.18 興銀リースと国際業務で提携 7.23 メトロポリタン銀行(フィリピン)と国際業務で提携 7.24 手形交換業務5期連続無事故(通算70期連続無事故)達成で全銀協から表彰 7.30 次世代経営者育成支援組織「ちばぎんフロンティアクラブ」設立 9.30 茨城県農業信用基金協会保証付融資制度取扱開始 9. - 「業務効率化及び早帰り推進委員会」を設置 11.25 東亜銀行(香港)と国際業務で提携 11. - 自己株式1,393.5万株取得(～12月) 	<ul style="list-style-type: none"> 9.13 日本証券業協会(日証協)、高齢顧客への勧誘による販売に係るガイドラインを公表 10. 1 紀陽銀行、紀陽ホールディングスを合併 10. 7 民間資金等活用事業推進機構(PFI推進機構)設立 12.20 千葉市に大型商業施設イオンモール幕張新都心オープン
2014 <small>(平成26)</small>	<ul style="list-style-type: none"> 1.28 地銀9行(千葉・北海道・七十七・八十二・静岡・京都・広島・伊予・福岡)で「地域再生・活性化ネットワーク」(9行連携)発足 1.30 室町ちばぎん三井ビルディング竣工 2.17 東京営業部、室町ちばぎん三井ビルディングにて営業開始 3.20 室町ちばぎん三井ビルディング内に「ちばぎんみわりギャラリー」オープン 3.28 「千葉銀行70年史」発刊 4. 1 第12次中期経営計画「ベストバンク2020～価値創造の3年」スタート 4. 1 「地域情報部」「ローン営業部」、法人営業部内に「プライベートアドバイザー室」、営業企画部内に「コンタクトセンターグループ」「CS推進グループ」、経営企画部内に「グループ統括室」を設置 4. 1 「ちばぎんリバースモーゲージ」取扱開始 4. 1 神奈川県信用保証協会・川崎市信用保証協会保証付融資制度取扱開始 4. 4 日本政策金融公庫4支店(千葉・館山・松戸・船橋)と業務連携開始 4.16 TSUBASAプロジェクト参加行と災害時相互協力で協定 4. - 国内全店に介助用車いす設置 5. 7 「ちばぎん知財活用融資」取扱開始 6.25 ベトナム投資開発銀行(ベトナム)、CIMBグループ2行(マレーシア)と国際業務で提携 7. 1 「いっしょがチカラ」新ブランド広告展開開始 7. 1 中國信託ホールディング(台湾)と国際業務で提携 7.22 「ダイバーシティ推進委員会」を設置 7. - 自己株式1,339.3万株取得(～9月) 8. 5 女性の管理職登用に關する数値目標を公表(2020年度までにリーダー職女性比率30%、管理職女性比率20%) 8.25 仮想店舗「インターネット支店」を設置 9.17 TSUBASAプロジェクト参加行と市場・国際業務の連携強化で協定 10. 1 「ダイバーシティ推進部」「お客さまサービス部」を設置(両部とも初の女性部長誕生) 10. 1 柏ブロックに「ACチーム」を設置(2016年までに10ブロックに拡大、2022年3月 廃止) 10. 1 JCBブランドの「ちばぎんスーパーカード(デビット)」取扱開始 10. 1 TKC千葉会と顧客創業支援の分野で提携 10. 3 厚生労働省「イクメン企業アワード2014」にて特別奨励賞を受賞 12. 1 「営業支援部」「個人営業部」を設置し、支店支援部と営業企画部を廃止 12.25 三菱UFJリース・ユーマシンと個別不動産担保融資の分野で提携 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 6 NISA開始 1.20 産業競争力強化法施行 2. 1 全銀協・日本商工会議所(日商)の「経営者保証に関するガイドライン」適用開始 2.26 金融庁、「[責任ある機関投資家]の諸原則(日本版スチュワードシップ・コード)」を公表 3.18 千葉県の地価公示価格、6年ぶりに上昇 3.28 成田市、政府の国家戦略特区に指定(国際医療学園都市構想・エアポート都市構想) 4. 1 消費税率引上げ(5%→8%) 4. 1 銀行法施行規則等の改正により銀行等による議決権保有規制(いわゆる5%ルール)が緩和 4.12 圏央道、神崎一稲敷間開通 5. 8 日本創成会議、「削減可能性都市」を公表(千葉県は26自治体が該当) 6.27 内閣府の「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」、[行動宣言]を公表(佐久間頭取が参画メンバーに) 7.28 金融庁、「金融庁業務継続計画」を公表 10. 1 東京都民銀行と八千代銀行が経営統合、東京TVフィナンシャルグループ発足 10.18 木更津市に商業施設イオンモール木更津オープン 10.19 ちばアクアラインマラソン2014開催 11.12 「輝く女性の活躍を加速する地銀頭取の会」発足、「行動宣言」を公表(佐久間頭取が会長に就任) 12.10 特定秘密保護法施行 12.24 第3次安倍晋三内閣成立 12.27 政府、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定
2015 <small>(平成27)</small>	<ul style="list-style-type: none"> 2. 4 日本金融通信社「2014年度 ニッキン賞」を受賞(女性活躍推進の取組み、ちばぎんハートフルを通じた障がい者雇用などが評価) 2.19 ちばぎんアセットマネジメント、投資信託委託業務開始(7月31日 1号ファンド「ちばぎんコア投資ファンド」を設定) 3. 2 千葉工大と共同の事業所内保育所「千葉工大ひまわり保育園」開園 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 1 相続税改正(最高税率引上げ、基礎控除額縮減など) 3. 5 金融庁と東証、「コーポレートガバナンス・コード原案」を公表(6月1日 適用) 4. 1 「輝く女性の活躍を加速する地銀頭取の会」、地銀人材バンクを創設 4. 8 成田国際空港、LCC専用の第3旅客ターミナルの供用開始 5. 1 改正会社法施行

年表

年	当行関連	内外時事 <small>(青字は千葉県関連)</small>
2015 (平成27)	<p>3. 3 「ダイバーシティ行動宣言」を公表</p> <p>3.18 経済産業省「平成26年度 ダイバーシティ経営企業100選」に選定</p> <p>3.23 「ちばぎん耐震化促進融資」取扱開始</p> <p>3.26 「地方創生関連部会議」を設置</p> <p>3.31 「投資検討委員会」を設置</p> <p>4. 1 カードローン・フリーローンの「WEB完結サービス」取扱開始</p> <p>4. 1 リース媒介業務開始</p> <p>4. 7 アナリスト向け「IR Day」開始</p> <p>4.24 地域経済活性化支援機構 (REVIC) と千葉県の地域活性化で連携協定</p> <p>5.19 本店営業部に新型燃料電池自動車「MIRAI」導入</p> <p>5.20 「ちばぎん車両担保ABL制度」取扱開始</p> <p>6.25 社外取締役に女性2名を選任</p> <p>6.30 ジェイ・ウィル・グループと国際業務で提携</p> <p>7.10 TSUBASAプロジェクト参加行と知財活用ビジネス支援で連携開始</p> <p>7.29 「ちばぎんダイバーシティ推進支援融資制度」取扱開始</p> <p>7.31 「ちばぎん結婚・子育て資金贈与専用口座」取扱開始</p> <p>8. 3 「地方創生・地域活性化委員会」を設置</p> <p>8.25 TSUBASAプロジェクトに北洋銀行が参加</p> <p>8.28 「経営諮問委員会」を設置</p> <p>8. - ちばぎん総合研究所、「『千葉県創生』戦略プラン」を公表</p> <p>8. - 自己株式1,118.9万株取得(～10月)</p> <p>9. 7 千葉県商工会連合会と地域活性化で連携協定</p> <p>9.15 地域再生・活性化ネットワーク参加行と大規模災害発生時の広域相互支援で協定</p> <p>9.24 NPO法人ファザーリング・ジャパンの「イクボス企業同盟」に加盟</p> <p>10. 1 「地方創生部」「信託コンサルティング部」を設置し、地域情報部を廃止</p> <p>10. 1 REVICと「広域ちば地域活性化ファンド」設立</p> <p>10.13 第四銀行・中国銀行と「TSUBASA金融システム高度化アライアンス(TSUBASAアライアンス)」発足(2018年4月TSUBASAアライアンスと改称)</p> <p>10.27 木更津工業高等専門学校(木更津高専)と産学連携で協定</p> <p>11. 2 当行・京葉銀行・千葉興業銀行で手形・税金業務の共同化と日本ATMへの外部委託開始</p> <p>11. 2 経営企画部内に「フィンテック事業化推進室」を設置</p> <p>11.10 「ちばぎん地方創生融資制度」取扱開始</p> <p>11.12 県内自治体に観光用レンタサイクル寄贈開始(2019年度までに30市町村に295台を寄贈)</p> <p>11.13 2016年度の株主優待制度に「TSUBASAアライアンス共同企画特産品コース」新設</p> <p>12. 2 ゼネリックソリューションとビッグデータ分析で協業開始</p> <p>12.15 千葉県商工会議所連合会・県内21商工会議所と地域活性化で連携協定</p> <p>12.21 内閣府「平成27年度 女性が輝く先進企業表彰」にて内閣総理大臣表彰を受賞</p>	<p>5.16 幕張海浜公園にて軽飛行機の世界最高峰レースレッドブルエアレースが日本初開催(～17日)</p> <p>6. 7 圏央道、神崎一大栄間開通</p> <p>7. 2 金融庁、「金融分野におけるサイバーセキュリティ強化に向けた取組方針」を公表</p> <p>9.24 安倍首相、アベノミクス新3本の矢を発表</p> <p>9.25 国連サミットにて「持続可能な開発のための2030アジェンダ」(SDGs)採択(～27日)</p> <p>10. 1 鹿児島銀行と肥後銀行が経営統合、九州フィナンシャルグループ発足</p> <p>10. 5 マイナンバー法施行</p> <p>11.13 フランスのパリで同時多発テロ発生</p> <p>12.15 政府、「フールジャパン官民連携プラットフォーム」を設立</p> <p>12.25 中国が主導する「アジアインフラ投資銀行」(AIIB)発足</p>
2016 (平成28)	<p>1. 4 基幹系システムを共同化(TSUBASAプロジェクト)</p> <p>2. 1 メキシコのアグアスカリエンテス州政府・ハリスコ州政府と国際業務で提携</p> <p>2. 1 浦安支店に「住宅ローン推進室」を設置(2020年までに9店舗に設置)</p> <p>2.22 普通預金金利を引下げ(年0.020%→年0.001%)</p> <p>3. 1 LINE@アカウント開設、オリジナルキャラクター「ひまりん」登場</p> <p>3.16 TSUBASAアライアンスに伊予銀行・東邦銀行・北洋銀行が参加</p> <p>3.25 武蔵野銀行と包括業務提携、「千葉・武蔵野アライアンス」発足</p> <p>4. 1 「コベナンツ付融資制度(短期継続融資型・オーダーメイド型)」取扱開始</p> <p>4. 1 女性活躍推進法に基づく行動計画を公表(第1期:2016年4月1日～2021年7月1日)</p> <p>4.19 サイバーエージェント・クラウドファンディングと提携</p>	<p>2. 1 日銀、「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」(マイナス金利政策)を導入</p> <p>2. 9 新発10年国債利回り、初のマイナスを記録</p> <p>2.15 日銀、日本銀行金融ネットワークシステム(日銀ネット)の稼働時間を21時まで延長</p> <p>3.31 船橋オートレース場閉鎖</p> <p>4. 1 電力小売事業全面自由化</p> <p>4. 1 横浜銀行と東日本銀行が経営統合、コンコルディア・フィナンシャルグループ発足</p> <p>4. 1 トモニホールディングスと大正銀行が経営統合(大正銀行はトモニホールディングス傘下に)</p> <p>4. 4 国際医療福祉大学成田キャンパス開学</p> <p>4.15 千葉港に観光用棧橋千葉中央港旅客船棧橋・複合施設ケーブハーバーオープン</p> <p>4.25 「北総四都市江戸紀行」が日本遺産に認定</p> <p>5.13 日銀、「消費活動指数」を初公表</p> <p>5.26 G7伊勢志摩サミット開催(～27日)</p>

年表

年	当行関連	内外時事 <small>(青字は千葉県関連)</small>
2016 <small>(平成28)</small>	4.25 海外発行カード対応ATM導入 4.27 女性活躍推進法に基づく優良企業認定マーク「えるぼし」(最上位)取得(6月7日にちばぎん証券、8月2日にちばぎんコンピューターサービスが取得) 4. - 自己株式902.6万株取得 5. 6 幕張新都心地区のワールドビジネスガーデンに「幕張コールセンター」を設置 5.16 幕張コールセンター内に「ちばぎん保険コールセンター」を設置 5.16 グループ9社を「ちばぎん幕張ビル」に順次集約(～9月20日) 5.25 「ちばぎんファミリートラストサポートサービス」取扱開始 6. 1 寄付型私募債「地方創生私募債(愛称:みらいはぐくみ債)」取扱開始 6.13 「ちばぎんリバースモーゲージ型住宅ローン(住宅融資保険付)」取扱開始 6.20 「ちばぎんアプリ」提供開始 6. - CVCニュース放送通算400回 7. 1 キャリアサポート制度導入(女性のキャリア形成支援、2020年9月メンタリングセッションに改定) 7. 1 TSUBASAアライアンス参加行・日本アイ・ビー・エム共同出資会社(当行関連会社)「T&Iイノベーションセンター」設立 7. 1 「ちばぎん暦年贈与サポートサービス」取扱開始 7. 5 ロボ・アドバイザー「PORT STAR(ポースター)」導入 7.27 「ちばぎん後見制度支援信託」取扱開始 8. 1 育児のための短日勤務制度創設 8. - 自己株式892.1万株取得 9.20 真砂支店にて次世代営業店モデルの実証実験開始(～2017年5月) 10. 3 「働き方改革推進部」を設置 10.20 千葉県の「CO2CO2(コツコツ)スマート宣言事業所」プレミアム・コースに登録 10.20 Facebook公式ページ開設 10.26 千葉・武蔵野アライアンスのロゴを公表 11. 1 マタニティサポート休暇・チャイルドプラン休暇創設 12.14 あおぞら銀行グループと「千葉・武蔵野パートナーファンD」設立	6.19 改正公職選挙法施行(選挙権年齢が18歳以上に引下げ) 7. 1 中小企業等経営強化法施行 9.15 金融庁、「金融仲介機能のベンチマーク」を公表 9.21 日銀、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」(イールドカーブ・コントロール)を導入 9.26 「ちばの魅力ある職場づくり公労使会議」にて「ちば『働き方改革』共同宣言」採択 9.30 そごう柏店閉店 10. 1 常陽銀行と足利ホールディングスが経営統合、めぶきフィナンシャルグループ発足 10. 3 西日本シティ銀行と長崎銀行が経営統合、西日本フィナンシャルホールディングス発足 10.23 ちばアクアラインマラソン2016開催 11.20 JR千葉駅の新駅舎・エキナカオープン 11.30 千葉パルコ閉店 12. 5 中小企業庁(中企庁)、「事業承継ガイドライン」を公表
2017 <small>(平成29)</small>	1.31 「働き方改革及び業務効率化推進委員会」を設置 2. - 自己株式638万株取得(～3月) 3. 6 千葉県産業振興センターと中小企業支援で提携 3.10 厚生労働省「第1回 働きやすく生産性の高い企業・職場表彰」にて奨励賞(職業安定局長賞)を受賞 4. 1 第13次中期経営計画「ベストバンク2020 Final Stage -価値共創の3年」スタート 4. 1 「WITH YOUR CHALLENGE.」新ブランド広告展開開始 4. 3 経営企画部内に「アライアンス推進室」を設置 4. 3 「ちばぎん遺言代行信託」取扱開始 4.14 セントラルパシフィックバンク(米国)と国際業務で提携(TSUBASAアライアンス) 4.17 武蔵野銀行との共同出資会社「千葉・武蔵野アライアンス」設立 4.17 伝票・印鑑届の本部集中開始 4.26 フィンテックビジネスコンテスト「第1回 Finovation Challenge」最終プレゼン大会・表彰式開催(TSUBASAアライアンス) 5.11 国際協力機構(JICA)と国際業務で提携 5.24 「ちばぎん古民家事業支援融資制度」取扱開始 5.26 ほけんの窓口グループと保険販売業務で提携 6.12 「千葉・武蔵野アライアンス 心得」制定 6.14 佐久間頭取、地銀協会長に就任(2回目、～2018年6月) 6.30 「『お客さま本位』の業務運営(フィデューシャリー・デューティー)に関する方針」を公表 6. - 「『お客さま本位』の業務運営(フィデューシャリー・デューティー)委員会」を設置 7.24 営業店システムに「e-ナビゲーション・e-オペレーション」導入開始(2018年1月 完了)	2.19 北千葉道路、若萩-北須賀間開通 2.26 圏央道、茨城県区間が全線開通 3.20 三越千葉店閉店 3.30 金融庁、「顧客本位の業務運営に関する原則」を公表(10月20日 採択) 4. 1 成田市に国際医療福祉大学医学部開学 6.16 「輝く女性の活躍を加速するちばのリーダーの会」発足(佐久間頭取が参画メンバー) 7.28 東京オリンピック・パラリンピック応援組織「みんなで応援!千葉県経済団体協議会」設立 9.22 経団連・日商・経済同友会・全国中小企業団体連合会(全国中央会)、「長時間労働につながる商慣習の是正に向けた共同宣言」を公表(全銀協など110団体の連名) 10.13 加曾利貝塚、国の特別史跡に指定 11.14 みなと銀行・関西アーバン銀行・近畿大阪銀行が経営統合、関西みらいフィナンシャルグループ発足 12. 6 公正取引委員会(公取委)、「企業結合審査の考え方」を公表 12.18 東京湾アクアライン開通20周年 12.22 政府、「IT新戦略の策定に向けた基本方針」を公表

年表

年	当行関連	内外時事 <small>(青字は千葉県関連)</small>
2017 (平成29)	<ul style="list-style-type: none"> 8.24 次世代法に基づく認定マーク「プラチナくるみん」取得 8. - 自己株式887.8万株取得 9.18 ホームページリニューアル 10. 2 つみたてNISA口座開設受付、「つみたてNISA購入サービス」取扱開始 10. 2 専門家による経営改善相談「ビジネスサポートサービス」取扱開始 10.11 千葉労働局と働き方改革で連携協定 11. 1 「新本部棟準備室」[広報部]、経営企画部内に「働き方改革推進室」を設置し、広報CSR部、働き方改革推進部を廃止 11. 1 「ESG推進委員会」を設置 12.21 READYFORとクラウドファンディングで提携 	
2018 (平成30)	<ul style="list-style-type: none"> 2.13 TSUBASAアライアンスのロゴを公表 2. - 自己株式1,000万株消却 2. - 自己株式800万株取得(～3月) 3. 6 ビズリーチと事業承継で提携 3.15 武蔵野銀行・T&IイノベーションセンターとAPI活用で提携 3.16 地域企業等と農業法人「フレッシュファームちば」設立 3.22 女性活躍推進に優れた上場企業「なでしこ銘柄」に選定(地方銀行初) 4. 1 単元株式数を1,000株から100株に変更 4. 2 事業所内保育所「ひまわり保育園・かしわ」開園(2023年3月31日 閉園) 4. 2 白浜支店と和田支店に昼休業導入 4. 5 TSUBASAアライアンスに北越銀行が参加 4. 7 創立75周年記念「ちばぎんひまわりコンサート」開催 4.25 RPA本格導入 4. - TSUBASA FinTech共通基盤稼働(TSUBASAアライアンス) 4. - 「情報開示方針」を公表 5.12 山武市の蓮沼海岸にて「ちばぎんの森(第5)」植樹活動 5.24 マイナビと地域活性化で連携協定 5. - 自己株式580.3万株取得(～6月) 6. 7 千葉県と災害時の県民支援で協定 6.27 グループチーフオフィサー制導入(2020年4月にグループCDTO、2021年4月にグループCHROを追加) 6.29 新本店ビル地鎮祭(7月 着工) 7. 2 事業所内保育所「ひまわり保育園・ちば」開園 7. 2 寄付型私募債「スポーツ応援私募債(愛称:ちばスポーツ債)」取扱開始 7.17 人事制度改定(2コース制を廃止し総合職・エリア総合職の選択制に移行) 9.20 石井顧問(元会長)死去(11月23日 お別れの会) 9.25 「相続受付システム」導入開始(2019年3月 完了) 10. 9 全銀ネットモアタイムシステムに接続(24時間即時振込・「Web-EB」の取扱時間拡大) 10.15 「蘇我融資事務センター」を設置(融資実行事務の本部集中開始、2021年2月 完了) 10.16 営業店に「リモート端末」導入開始 10. - 自己株式665.1万株取得 11.19 「夫婦連帯債務住宅ローン」取扱開始 11.19 稲毛支店に「サポートセンター」設置(預金後方業務を集中処理) 11.20 「事業者向けアドバイザー業務」開始 11.29 厚生労働省「2018年度 均等・両立推進企業表彰 ファミリー・フレンドリー企業部門」にて厚生労働大臣優良賞を受賞 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 1 休眠預金等活用法施行 2. 1 農産物の安全性を示す県認証制度「ちばGAP」導入 2.28 西武船橋店閉店 3.15 全銀協、行動憲章を改定 3.21 伊勢丹松戸店閉店 4. 1 三菱東京UFJ銀行、商号を三菱UFJ銀行に変更 4. 2 三重銀行と第三銀行が経営統合、三十三フィナンシャルグループ発足 5. 1 東京都民銀行・八千代銀行・新銀行東京が合併、きらぼし銀行発足(持株会社東京TYフィナンシャルグループを東京きらぼしフィナンシャルグループと改称) 5.20 成田国際空港開港40周年 6. 1 東証、改訂コーポレートガバナンス・コードを公表(同日施行) 6. 2 東京外環自動車道(外環道)、三郷南-高谷間開通 6.15 民泊新法施行 6.28 千葉駅ビルペリエ千葉全面開業 6.29 金融庁、「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」を公表 9. 7 経済産業省、「DXレポート～ITシステム「2025年の崖」の克服とDXの本格的な展開～」を公表 10. 1 第四銀行と北越銀行が経営統合、第四北越フィナンシャルグループ発足 10. 9 全国銀行資金決済ネットワーク(全銀ネット)、全銀システムの稼働時間拡大 10.15 市原市の養老川流域田淵の地磁気逆転地層が国の天然記念物に指定 10.21 ちばアクアラインマラソン2018開催 11.11 伊予銀行・阿波銀行・百十四銀行・四国銀行が包括提携、「四国アライアンス」発足 11.27 全銀協、気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)提言に対する賛同を表明 12.30 環太平洋パートナーシップ(TPP)発効
2019 (平成31/ 令和元)	<ul style="list-style-type: none"> 1.15 「遺言執行代行サービス」取扱開始 2.25 「通帳アプリ」提供開始 2. - 自己株式740.18万株取得(～3月) 3. 5 フィンテックビジネスコンテスト「第2回 Finovation Challenge」最終プレゼン大会・表彰式開催(TSUBASAアライアンス) 3.13 TSUBASAアライアンスに武蔵野銀行が参加 3. - 自己株式2,500万株消却 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 1 銚子沖の沖合洋上風力発電所、商用運転開始 4. 1 ふくおかフィナンシャルグループと十八銀行が経営統合(十八銀行はふくおかフィナンシャルグループ傘下に) 4. 1 近畿大阪銀行と関西アーバン銀行が合併、関西みらい銀行発足 5. 1 皇太子徳仁親王殿下が天皇に即位、「令和」と改元 6.28 G20大阪サミット開催(～29日) 9. 6 SBIホールディングス、島根銀行と資本提携

年表

年	当行関連	内外時事 <small>(青字は千葉県関連)</small>
2019 <small>(平成31/ 令和元)</small>	<ul style="list-style-type: none"> 4. 1 ちばぎんキャリアサービス、取引先への人材紹介業務開始 4. 1 「営業企画部」、営業支援部内に「資産運用サポートグループ」「無担保ローン・カード推進グループ」、法人営業部内に「アドバイザーグループ」を設置し、経営企画部フィナンテック事業化推進室、営業支援部チャネル・サービス開発グループ、資産運用サポート部、個人営業部を廃止 4. 1 「1on1 Talk(ワンオンワントーク)」導入 4.15 営業店に店頭タブレット端末「TSUBASA Smile」導入開始(2020年8月完了) 4.22 管理債権の管理・回収業務をちば債権回収に委託 5. 7 「プレミアム住宅ローン」取扱開始 5.22 手形交換業務40年連続無事故達成で全銀協より特別感謝状が授与 5.22 「ちばぎんグループSDGs宣言」「TSUBASA SDGs宣言」を公表 5.22 TSUBASAアライアンスに滋賀銀行が参加 6. 4 千葉市と災害時の施設提供で協定 6.26 「カード事業部」を設置 7. 1 「コーポレート・ガバナンスに関する方針」を公表 7. 1 「ちばぎんグループサステナビリティ方針」を公表(グループCSR活動方針を改定) 7. 1 本部・営業店にフレックスタイム制導入 7.10 横浜銀行と業務提携、「千葉・横浜パートナーシップ」発足 7.19 シニアパートナー制度創設(65歳超の当行動務経験者を雇用) 7. - 統合報告書発行開始 8. - 自己株式1,880.12万株取得(～9月) 9. 2 「ちばぎん資本性ローン」取扱開始 9. 9 台風15号の影響で鋸南支店営業休止(～9月27日、9月13～25日の営業日は東邦銀行提供の移動店舗車で臨時営業) 9.10 「ちばぎん災害復旧融資制度(2019年5月台風15号による災害)」取扱開始(10月28日 台風19号・10月25日大雨を対象災害に追加) 9.30 目的別ローンにWEB契約スキーム導入 10. 1 「TSUBASAちばぎんキャッシュレス加盟店サービス」取扱開始 10. 7 「柏融資事務センター」を設置 10. - 横浜銀行と「新事業共創プロジェクト」スタート(千葉・横浜パートナーシップ) 11. 7 「ちばぎんESG利子補給付融資」取扱開始 12.25 TCFD提言への賛同を表明 	<ul style="list-style-type: none"> 9. 9 金融庁、「金融仲介の取組状況を客観的に評価できる指標群(KPI)」を公表 9. 9 台風15号(令和元年房総半島台風)の暴風雨により県内各地で住宅の損壊や停電などの被害発生 9.22 UNEP FIの「責任銀行原則」発効 10. 1 消費税率引上げ(8%→10%、軽減税率導入) 10. 9 幕張メッセ開業30周年 10.12 台風19号、首都圏を直撃 10.25 太平洋沿岸の記録的大雨により県内各地で路面の冠水や停電などの被害発生 11. 5 全銀ネット、第7次全銀システムの稼働を公表 11.11 SBIホールディングス、福島銀行と資本提携 12.18 金融庁、金融検査マニュアルを廃止 12. - 中国湖北省武漢市にて新型コロナウイルス感染症(COVID-19)を確認
2020 <small>(令和2)</small>	<ul style="list-style-type: none"> 1.10 カジュアルフライデー・ノーネクタイ勤務導入 1.17 テレワーク対応など営業店端末の更改・出納関連機器との連携開始(7月完了) 1.31 県内5金融機関・千葉県信用保証協会・政投銀と「ちば災害復興支援ファンド」設立 2.10 営業店に「営業融資支援システム」(第1ステップ)導入(8月24日 第2ステップ) 2.14 「ちばぎん災害復旧融資制度(新型コロナウイルス感染症)」取扱開始・国内全店に事業者向け相談窓口設置 2.26 ワーク・ライフバランス主催「男性育休100%宣言」への賛同を表明 2.29 横浜銀行とサイクルスタンプラリーイベントを共催(～4月8日、千葉・横浜パートナーシップ) 2. - 自己株式2,500万株消却 3.16 新型コロナウイルス感染症の影響を受けたお客さまの融資条件変更手数料を免除 3.16 経済産業省「令和元年度 新・ダイバーシティ経営企業100選プライム」に選定(金融機関初) 4. 1 第14次中期経営計画「NEXT STEP 2023～未来へ、つながる・超える～」スタート 4. 1 「企業サポート部」(審査部と企業サポート部を統合)、「コンプライアンス・リスク統括部」(コンプライアンス部とリスク管理部を統合)、「品質管理部」「監査役室」、営業企画部内に「情報戦略室」、経営企画部企画グループ内に「新事業・戦略チーム」を設置し、お客さまサービス部を廃止 4. 1 「デジタル推進委員会」「品質向上委員会」を設置 4. 1 「自然災害時支援特約付住宅ローン【約定返済補償型】」取扱開始(千葉・横浜パートナーシップ) 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 1 徳島銀行と大正銀行が合併、徳島大正銀行発足 1.15 新型コロナウイルス感染症患者、国内初確認 1.17 市原市の養老川流域田淵の地磁気逆転地層がGSSP(国際境界模式地)に認定、地質時代を「チバニアン」と命名 1.17 SBIホールディングス、筑邦銀行と資本提携 1.31 英国、EU離脱 2. 7 金融庁、金融機関に新型コロナウイルス感染症の発生を踏まえた対応を要請(従業員が発症した場合の対応など) 2.18 SBIホールディングス、清水銀行と資本提携 3.11 WHO、新型コロナウイルス感染症のパンデミック(世界的流行)を宣言 3.12 全銀協、新型コロナウイルスへの対応に関する申し合わせを公表(人命最優先で必要なサービスを可能な限り継続して提供) 3.14 山手線49年ぶりの新駅となる高輪ゲートウェイ駅開業 3.16 国際医療福祉大学成田病院開院 3.24 政府、東京オリンピック・パラリンピックの1年程度延期を決定 3.25 大手通信各社、高速通信規格「5G」の商用サービスを相次ぎ開始 4. 1 改正民法施行 4. 7 新型コロナウイルス感染拡大で緊急事態宣言発出(4月7日～5月25日、千葉県も同期間) 5. 1 民間金融機関で実質無利子・無担保の信用保証付融資(ゼロゼロ融資)取扱開始 5.29 SBIホールディングス、大東銀行の筆頭株主に 5. - 日銀、「新型コロナ対応資金繰り支援特別プログラム」を導入 7. 1 プラスチック製レジ袋が有料化

年表

年	当行関連	内外時事 <small>(青字は千葉県関連)</small>
2020 <small>(令和2)</small>	4. 1 「館山エリア営業部」を設置(エリア営業部制導入) 4. 1 アンチマネーローダリング(AML)行動計画策定 4.16 国内全店舗に昼休業導入 4.27 TSUBASAアライアンスに琉球銀行が参加 4.30 「ちばざんアプリ」全面リニューアル 5.11 特定のセクターに対する融資ポリシーを公表 6. 1 「ローンサポート部」を設置 6. 3 寄付型私募債「医療応援私募債(愛称:医療に感謝債)」取扱開始 6. 5 千葉県に新型コロナウイルス感染症対策支援の寄付 6.30 TSUBASAオリジナルエコバッグ配布開始(TSUBASAアライアンス) 6. - DX実現に向けた三つのムーンショット目標策定 7. 1 館山支店内に「館山事務センター」を設置 7.14 千葉・横浜パートナーシップのロゴを公表 7.22 TSUBASAアライアンス参加行共同出資会社「TSUBASAアライアンス」設立(10月1日に「AMLセンター」、2021年10月に「事業戦略部」を設置) 8. - 行内報「ちばざん」創刊700号 8.28 「健康経営宣言」を公表 9.23 政投銀と「ちば企業価値向上ファンド」設立 9.29 千葉県社会福祉協議会(県社協)・フードバンクちばと食品提供を通じた生活困窮者支援で連携協定 9.30 新本店ビル(ちばざん本店ビル)竣工 10. 1 「ちばざんSDGsフレンズローン」取扱開始 10. 1 「TSUBASAちばざんVisaデビットカード」取扱開始 10. 2 ちばざん本店ビル定礎式・竣工式(11月18日 落成記念式典) 11.24 本店営業部、ちばざん本店ビルにて営業開始 11.25 「ちばざんグループ人権方針」「ちばざんグループ環境方針」を公表 12. 1 「ちばざん財産管理信託」取扱開始 12.11 TSUBASAアライアンスに群馬銀行が参加	8.24 安倍首相、連続在任日数が歴代最長記録を更新(8月28日 持病再発を理由に辞任を表明) 9.16 菅義偉内閣成立 10. 1 ひろぎんホールディングス(広島銀行の持株会社)設立 10. 1 親和銀行と十八銀行が合併、十八親和銀行発足 10.23 SBIホールディングス、東和銀行と資本提携 10.28 静岡銀行と山梨中央銀行が包括提携、「静岡・山梨アライアンス」発足 11.20 SBIホールディングス、じもとホールディングスと資本提携 11.27 独禁法特例法施行(地銀の合併等が10年間独禁法の適用除外に) 12.23 銚子市の犬吠埼灯台が国の重要文化財に指定
2021 <small>(令和3)</small>	1. 1 「わが家は、なにかと ちばざんです。」新ブランド広告展開開始 1.15 本店食堂に食糧支援プログラム「Table for Two」導入 2. 9 「ちばざん移動店舗車」導入 2.22 営業部の一部業務に来店予約制導入 3. 5 J-Win「2021 J-Winダイバーシティ・アワード アドバンス部門」にて大賞を受賞 3.24 タレントマネジメントシステム「タレントパレット」導入(2022年8月 360度評価実施) 3.31 2021年度の株主優待制度に「寄付コース」新設 4. 1 「ちばざんビジネスポータル」(法人ポータル)提供開始 4. 1 「ICTコンサルティング業務」開始 4. 1 投資一任サービス「TSUBASAファンドラップ」取扱開始 4. 1 本部機構の4本部制を廃止。「営業本部」「デジタル改革部」「資産運用コンサルティング部」を設置し、経営企画部業務効率化推進室を廃止 4. 1 千葉・武蔵野アライアンス新5か年計画スタート 4.16 経団連「2030年30%へのチャレンジ」への賛同を表明 5. 1 カジュアルエプリアデー・通年ノーネクタイ勤務導入 5.10 関連会社「ちばざん商店」設立(銀行業高度化等会社) 5.14 日経DUAL「共働き子育てしやすい企業ランキング2021」で全国1位にランクイン 6. 1 相談役を廃止 6.21 新型コロナワクチンの職域接種開始 6.25 佐久間頭取が会長に、米本努が第9代頭取に就任 6.25 「経営承継コンサルティング部」を設置 6.25 役員報酬制度改定(譲渡制限付株式報酬制度導入、ストックオプション廃止など) 7. 1 変額終身保険「マイセレクトライフ」販売開始(千葉・横浜パートナーシップ) 7. 2 女性活躍推進法に基づく行動計画を公表(第2期:2021年7月2日~2026年7月1日) 7.26 データ分析・検索システム「ダイナトレック」導入 7. - 地域貢献活動「いしがみひまわりプロジェクト」実施 8. 6 チェンジと新事業開発・DX人材育成で提携	1. 1 第四銀行と北越銀行が合併、第四北越銀行発足 1. 7 新型コロナウイルス感染拡大で2度目の緊急事態宣言発出(1月8日~3月21日、千葉県も同期間) 2.28 みずほ銀行で大規模なシステム障害発生(以降も複数回発生し、9月22日と11月26日に金融庁より業務改善命令) 3. 1 日銀、「地域金融強化のための特別当座預金制度」を導入 3.18 全銀ネット、為替取引に係る銀行間手数料の見直しを公表(10月1日 新銀行間手数料適用開始) 4. 5 千葉県知事に熊谷俊人就任 4.23 新型コロナウイルス感染拡大で3度目の緊急事態宣言発出(4月25日~9月30日、千葉県は8月2日~9月30日) 5. 1 三重銀行と第三銀行が合併、三十三銀行発足 5.14 SBIホールディングス、筑波銀行と資本提携 5.21 市原市、SDGs未来都市に選定 6.11 東証、改訂コーポレートガバナンス・コードを公表(同日施行) 7.20 大手5行(みずほ・三菱UFJ・三井住友・りそな・埼玉りそな)、小口決済インフラ運営会社こころ設立(2022年10月11日 サービス開始) 7.21 改正金融機能強化法施行(地銀の合併・経営統合に補助金支給) 7.23 東京オリンピック開幕(~8月8日) 7.24 幕張メッセでオリンピック3競技開催(~8月7日) 7.25 一宮町の釣ヶ崎海岸でオリンピックのサーフィン競技開催(~27日) 8.24 りそなホールディングスと京葉銀行が業務提携 8.24 東京パラリンピック開幕(~9月5日) 8.25 幕張メッセでパラリンピック4競技開催(~9月5日) 9. 1 デジタル庁発足 9. 4 東京ディズニーシー開園20周年 9.14 日経平均株価、バブル崩壊後最高値を記録(終値3万670円10銭) 10. 1 福井銀行、福邦銀行を子会社化 10. 4 岸田文雄内閣成立 10.27 秋田銀行と岩手銀行が包括提携、「秋田・岩手アライアンス」発足

年表

年	当行関連	内外時事 <small>(青字は千葉県関連)</small>
2021 <small>(令和3)</small>	<ul style="list-style-type: none"> 8.24 日本橋兜町に複合施設「KABUTO ONE」竣工(11月15日にちばぎん証券、12月6日にT&Iイノベーションセンターが本社移転) 10. 1 経営企画部内に「SDGs推進室」を設置 10. 5 「ちばぎんサステナビリティ・リンクローン」「ちばぎんグリーンローン」取扱開始 10. 5 マイカーローン・リフォームローンの金利割引(SDGs割引)取扱開始 10. 7 「経営承継アドバイザー業務」開始 10.11 DX認定制度創設 10.14 ちばぎん商店、購入型クラウドファンディングサイト「C-VALUE」を開設(12月10日 ECサイト開設) 10.19 ちばぎんハートフル、障害者雇用優良中小事業者認定マーク「もにす」を取得 11. 1 「ちばぎん電子契約サービス」取扱開始(住宅ローン対象) 11. 9 「サステナブル住宅ローン」取扱開始(千葉・横浜パートナーシップ) 11.25 千葉県にちばぎん研修センターを無償提供(千葉県の新型コロナウイルス臨時医療・宿泊療養施設に) 11. - 自己株式726.93万株取得(～12月) 12.10 CDP「2021年度 気候変動調査レポート」にて「A-」取得(邦銀最高水準) 12.20 「ちばアントレプレナーシップ教育コンソーシアム Seedlings of Chiba」に参画 	<ul style="list-style-type: none"> 11. 1 新500円硬貨発行 11.22 改正銀行法施行(出資・業務の規制緩和など) 11.25 「ちばSDGsパートナー登録制度」創設 12. 2 第四北越銀行と群馬銀行が連携協定、「群馬・第四北越アライアンス」発足 12.11 SBIホールディングス、新生銀行を子会社化
2022 <small>(令和4)</small>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 7 「ちばSDGs推進ネットワーク」に参加(当行が事務局に) 1.14 第四北越銀行・中国銀行・野村ホールディングスとの合弁会社「オンアド」設立(4月1日 営業開始) 1.27 「SDGsリーダーズローン」取扱開始 2. 1 「グループ会社管理規程」制定 2. 7 千葉駅前支店内に「ちばぎんイノベーションラウンジ」オープン 2.10 女性活躍推進法に基づく優良企業認定マーク「プラチナえるぼし」取得(銀行初) 3. 1 2030年度カーボンニュートラル達成目標を公表 3. 7 経済産業省「DX認定事業者」に認定 3.10 インテックと「データ利活用による営業DX共同企画」開始 3.28 有管理システム導入(3月31日 完了) 3.31 経済産業省「GXリーグ基本構想」への賛同を表明 4. 1 寄付型私募債を「ちばぎんSDGs私募債」にリニューアル(環境配慮型・プロジェクト支援型を追加) 4. 1 トップリスク管理導入 4. 1 人事制度改定(リーダー階層の職位増設、行員継続制度の対象拡大など) 4. 1 退職金・年金制度改定(退職一時金の水準引上げ、確定年金への移行など) 4. 4 東証「プライム市場」へ移行 4. 6 「TSUBASA ダイバーシティ&インクルージョン宣言」を公表(TSUBASAアライアンス) 4.22 ホームページ内に金融教育WEBサイト開設 6. 1 公式Twitterアカウント開設 6. 3 2022年度の株主優待制度に「C-VALUE特別企画特産品コース」新設 6.12 TSUBASA汎用ペーパーレスシステム「TSUBASA Smile ワークフロー」導入 6.15 米本頭取、地銀協会長に就任(～2023年6月) 6.26 ちばぎんひまわりギャラリーの来廊者が10万人に到達 7. 7 ウェルスナビと資産運用サービスで提携 7.11 一部営業店で「ちばぎん電子契約サービス for Biz」取扱開始(事業性融資対象) 8. 4 「自治体職員向けDX人材育成プログラム」取扱開始 8. 5 「ちばぎんポジティブインパクトファイナンス」取扱開始 8.16 TSUBASAクロスメンター制度創設(TSUBASAアライアンス) - 自己株式1,281.15万株取得(～11月) 10.11 企業内大学「ちばぎんアカデミー」開校 10.20 千葉国道事務所・千葉市と国道空間を活用した地域活性化で連携協定 10.31 ソニー銀行とDXで提携 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 7 新型コロナウイルス世界累計感染者数が3億人を突破、死者数は547万人に 1. 7 「ちばSDGs推進ネットワーク」発足(県内12企業・団体が参加) 2.24 ロシアがウクライナに軍事侵攻(ウクライナ危機) 4. 1 改正民法施行(成人年齢が18歳に) 4. 1 改正温対法施行(2050年までの脱炭素社会の実現を明記) 4. 4 東証、市場区分を5区分から3区分(プライム・スタンダード・グロース)に変更 4.27 静岡銀行と名古屋銀行が包括提携、「静岡・名古屋アライアンス」発足 6.30 日本製鉄東日本製鉄所君津地区の排水口から有毒物質シアン検出 7. 8 安倍元首相、参院選の応援演説中に撃たれ死亡 10. 1 北総鉄道、運賃全体で15.4%値下げ 10. 3 愛知銀行と中京銀行が経営統合、あいちフィナンシャルグループ発足 11. 6 ちばアクアラインマラソン2022開催(4年ぶり) 11.15 国連、世界の人口が80億人に到達したと発表 12.20 日銀、長期金利の許容変動幅を拡大(0.25%→0.5%)

年表

年	当行関連	内外時事 <small>(青字は千葉県関連)</small>
2022 <small>(令和4)</small>	11.24 小口決済サービス「こたら送金サービス」取扱開始 12. 5 「ちばぎんトランジション利子補給付融資制度」取扱開始 12.27 東京都とサステナブルファイナンス活性化で連携協定	
2023 <small>(令和5)</small>	1. 4 住宅ローン金利優遇制度「サステナ住宅応援割！」取扱開始 2.13 内閣府「第2回 地方創生SDGs金融表彰」を受賞 3. 8 21世紀金融行動原則にて環境大臣賞(地域部門)を受賞 3.22 千葉県が創設する奨学金制度に1,000万円の寄付 4. 1 パーパス・ビジョン制定 4. 1 第15次中期経営計画「エンゲージメントバンクグループ～フェーズ1～」スタート 4. 1 船橋市に単身寮「原木中山寮」開設 4. 3 「グループ戦略部」「営業統括部」「デジタル戦略部」、営業企画部内に「商品開発グループ」、企業サポート部内に「企業コンサルティング室」を設置し、経営企画部グループ統括室、コンプライアンス・リスク統括部グループ会社管理グループ、営業本部、デジタル改革部、営業企画部デジタル推進グループ、営業企画部情報戦略室、企業サポート部経営支援・管理グループ、経営管理部新店整備室を廃止。法人営業部内の成長ビジネスサポート室を「ビジネスソリューショングループ」、資産運用コンサルティング部内の商品企画グループを「企画グループ」と改称 4.28 関連会社「ひまわりグリーンエナジー」設立(銀行業高度化等会社) 5.15 「オニオン新聞社」を関連会社化(銀行業高度化等会社) 5.15 広告事業(広告媒体業務、広告コンサルティング業務)開始 5.19 ちばぎん本店ビルブランドオープン記念セミナー開催 5.19 創立80周年記念マルシェ開催(～20日) 5.22 ちばぎん本店ビル内に「ちばぎん金融資料室(愛称：FinTERRACE)」「ちばぎんコワーキングスペース(愛称：PORT)」オープン(創立80周年記念事業) 5. - ちばぎん本店ビルブランドオープン 5. - ちばぎん本店ビル前国道上部空間整備事業(創立80周年記念事業)	1. 4 新生銀行、商号をSBI新生銀行に変更 2.28 津田沼パルコ閉店 3.10 米シリコンバレーバンク(SVB)、経営破綻 3.18 JR京葉線25年ぶりの新駅となる幕張豊砂駅開業 3.19 スイス金融大手UBS、クレディ・スイスの買収を発表 4.27 横浜銀行、神奈川銀行を子会社化 5.19 G7広島サミット開催(～21日)